平成２４年度

下田地域交流拠点施設建設建築本体工事

設 計 図

図面リスト

直売加工所建設工事

No.	図面名称	縮尺	No.	図面名称	縮尺	No.	図面名称	縮尺
	意匠図（A）			意匠図（A）			構造図（S）	
AA−1	図面リスト		AA−21	各部詳細図	S＝1／10 S＝1／20	SA−1	構造設計標準仕様	
2	特記仕様書（Ⅰ）		22	展開図（1）	S＝1／50	2	柱状改良伏図	S＝1／100
3	特記仕様書（Ⅱ）		23	展開図（2）	S＝1／50	3	基礎伏図	S＝1／100
4	特記仕様書（Ⅲ）		24	展開図（3）	S＝1／50	4	基礎詳細図	S＝1／30
5	特記仕様書（Ⅳ）		25	展開図（4）	S＝1／50	5	柱・筋違伏図・土台伏図	S＝1／100
6	配置図，案内図	S＝1／500	26	展開図（5）	S＝1／50	6	土台金物位置図	S＝1／100
7	仮設計画図	S＝1／300	27	展開図（6）	S＝1／50	7	部材リスト・梁伏図	S＝1／100
8	面積表，求積図		28	建具キープラン	S＝1／100	8	雁木部分小屋伏図	S＝1／100
9	外部・内部 仕上表		29	鋼製建具表（1）	S＝1／50	9	垂木、母屋、小屋束、天秤梁伏図	S＝1／100
10	平面図	S＝1／100	30	鋼製建具表（2）	S＝1／50	10	軸組図（1）	S＝1／100
11	立面図	S＝1／100	31	鋼製建具表（3）	S＝1／50	11	軸組図（2）	S＝1／100
12	断面図	S＝1／100	32	木製建具表	S＝1／50	12	軸組図（3）	S＝1／100
13	天井伏図	S＝1／100	33	家具図（1）	S＝1／30	13	軸組図（4）	S＝1／100
14	屋根伏図	S＝1／100	34	家具図（2）	S＝1／30	14	軸組図（5）	S＝1／100
15	矩計図（1）	S＝1／30	35	家具図（3）・家具キープラン	S＝1／30 S＝1／100	15	軸組図（6）	S＝1／100
16	矩計図（2）	S＝1／30	36	サイン図	S＝1／10 S＝1／100	16	構造詳細図（1）	S＝1／20
17	矩計図（3）	S＝1／30	37	外構解体図	S＝1／300	17	構造詳細図（2）	S＝1／10
18	矩計図（4）	S＝1／30	38	外構図	S＝1／300	18	柱脚金物伏図	S＝1／100
19	平面詳細図（1）	S＝1／50				19	柱脚金物詳細図	S＝1／10
20	平面詳細図（2）	S＝1／50						

図面リスト

庭月庵悟空改修工事

No.	図面名称	縮尺	No.	図面名称	縮尺	No.	図面名称	縮尺
	意匠図（A）			意匠図（A）				
AB−1	特記仕様書（Ⅰ）		AB−21	展開図（5）	S＝1／50			
2	特記仕様書（Ⅱ）		22	展開図（6）	S＝1／50			
3	特記仕様書（Ⅲ）		23	展開図（7）	S＝1／50			
4	特記仕様書（Ⅳ）		24	展開図（8）	S＝1／50			
5	特記仕様書（Ⅴ）		25	展開図（9）	S＝1／50			
6	仕上表（1）		26	展開図（10）	S＝1／50			
7	仕上表（2）		27	展開図（11）	S＝1／50			
8	平面図	S＝1／100	28	建具表	S＝1／50			
9	立面図	S＝1／100	29	雑詳細図（1）	S＝1／50			
10	天井伏図	S＝1／100	30	雑詳細図（2）	S＝1／30			
11	矩計図（1）	S＝1／40	31	雑詳細図（3）	S＝1／30			
12	平面詳細図（1）	S＝1／50						
13	平面詳細図（2）	S＝1／50						
14	平面詳細図（3）	S＝1／50						
15	平面詳細図（4）	S＝1／50						
16	平面詳細図（5）	S＝1／50						
17	展開図（1）	S＝1／50						
18	展開図（2）	S＝1／50						
19	展開図（3）	S＝1／50						
20	展開図（4）	S＝1／50						

変更

三条市

三条市建築設計協同組合
新潟県知事 登録番号（二）第3037号
電話 0256-32-5355
管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏

設計者
一級建築士 第177868号 長野暁明
審査：樋口 山田 サブ欄 意匠 構造 機械 電気

工事名称：下田地域交流拠点施設建設建築本体工事
図面名称：図面リスト
年月日：2012.6.30
縮尺：
図面番号：AA-1／38
意 電 構 機

下田地域交流拠点施設
建築本体工事設計図

平成２４年　６月（全　８７枚）

仕　様　書

Ⅰ　共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
（1）「契約書」を「三条市財務規則（平成17年規則第40号）別記（第190条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
（2）「監督職員」を「監督員」に読み替える。
（3）「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
（1）　1章　1.1.2用語の定義の(1)、(12)及び(19)
（2）　〃　1.4.2材料の品質の(a)及び(b)
（3）　〃　1.4.4材料の検査等の(a)
（4）　〃　1.6.1工事検査の(b)及び(d)

4. 次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
1章　1.1.2　用語の定義の(20)
〃　1.6.2　技術検査

別　表（建築工事）

号	項　目	置き換え後の標仕の規定
	1章　一般共通事項	
(1)	1.1.2　用語の定義	(1)「監督員」とは、約款第10条の規定により請負者に通知された者をいう。
		(12)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は捺印した文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう
		(19)「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第47条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第48条）
(2)	1.4.2　材料の品質等	(a)　工事に使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する材料は、新品でなくてもよい。
		(b)　使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、ＪＩＳ又はＪＡＳのマーク表示のある材料を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(1)から(3)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、資料の提出を省略することができる。 (1)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (2)建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (3)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4　材料の検査等	(a)　現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(1)若しくは(2)に該当する場合またはあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (1)工事完成検査時または工事写真で、ＪＩＳ若しくはＪＡＳのマークを確認できる場合 (2)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時または工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1　工事検査	**(b)　約款に規定する部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来**形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (d)（a）から（c）の通知に基づく検査及び約款に規定する臨時検査、契約が解除された場合の検査は、発注者から通知された検査日に検査を受ける。

Ⅱ　特記仕様

1. 項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の（　．　）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、（別　・　・　）は標仕の別図「各部配筋」の当該番号をを表し、別図２は標仕の別図２「ボルト間隔等及び溶接継手の開先形状」を表す。
4.　製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	①　工事実績情報の登録	※請負工事費2,500万円以上の場合は登録する。　（1.1.4）
	②　概成工期	※無し　・有（工期　平成　年　月　日）　（1.2.1）
	③　品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件　（1.2.2） ⊙地区の区分に応じた風速（Ｖo（ｍ／sec））　⊙３０　・３２ ⊙地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ⊙多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　）
	④　監理技術者の要件	※次に掲げる基準を全て満たす監理技術者を専任で配置できること。 １　建築工事の施工に関し、１０年以上の実務経験を有すること。 ２　建築工事に係る監理技術者証を有するものであること。
	５　電気保安技術者	・要（　）　・不要　（1.3.3）
	⑥　発生材の処理等	２４追加特記　８「発生材の処理等」による。　（1.3.8）
	⑦　特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。
	⑧　技　能　士	（1.5.2）
	⑨　見本施工	※実施しない　⊙実施する（　）　（1.5.5）
	⑩　化学物質の濃度測定	２４追加特記　９「化学物質の濃度測定」による。　（1.5.9）
	⑪　完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図　・平面図　・立面図　・断面図　（1.7.1～1.7.3） ・仕上表　⊙図面一式　⊙建物の保全に関する説明書（取扱説明書を含む。） ※原図　⊙陽画複写図　３部　⊙ＣＡＤデータ ⊙下記図面をＣＡＤデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、矩計図、杭・基礎関係図、各伏図、各リスト、その他監督員が指示した図面
	⑫　施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	⑬　工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。　※提出部数　３部
	⑭　特別完成写真	写真専門業者の撮影した外観カラー写真　部提出する。（ネガ共） 大きさ　※キャビネ　・半紙　⊙電子データ（２００dpi/inch）
	⑮　工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「建設大臣官房官庁営繕部監修　工事写真の撮り方　改訂第2版　建築編」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる ※提出部数　３部
	⑯　設備工事との取合い	２４追加特記　７「工事区分表」による。
②仮設工事	①　監督員事務所等	・監督員事務所　・10　・20　・35　・65　・　㎡程度を設ける。　（2.3.1） ⊙仮設事務所の中に監督員用空間を10㎡程度確保する。
	②　監督員用備品等	監督員用備品として、下記のものを工事期間中常備する。　（2.3.1） ⊙保護帽　３ケ（三条市を記入） ⊙雨具　３着　⊙長靴　３足　⊙安全帯　３組
	③　工　事　用　水	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）
	④　工　事　用　電　力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	⑤　仮　設　建　物　等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

章	項　目	特　記　事　項
②仮設工事	⑥　足　場	外部足場は枠組足場とする。 足場を設置する場合は、「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ（厚生労働省　基発第0424001号　平成21年4月24日）」の「手すり先行工法等に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。
③土工事	①　埋戻し及び盛土	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土　（3.2.3）（表3.2.1）
	②　建設発生土の処理	・構内指示の場所（・敷き均し　・堆積）　（3.2.5） ⊙構外搬出適切処理（指定場所：　） ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする
④地業工事	１　試験	杭の載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験　（4.2.3）（4.2.4） 試験位置　※図示　載荷荷重　N/㎟ 地盤の載荷試験　※平板載荷試験　・ 試験位置　※図示　載荷荷重　N/㎟
	２　既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	種類　（4.3.1）（4.3.2） ・遠心力高強度プレストレストコンクリートくい（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリートくい（ＳＣ杭） ・プレストレス鉄筋コンクリートくい（ＰＲＣ杭） ・

	杭径（mm）	杭長(m)及び種別	継手箇所数	長期設計支持力(kN/本)	セット数等
試験杭					位置は図示
本　杭					

杭頭の処理　※切断しない　・　（4.3.7）
先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　（4.3.2）
杭の継手　※アーク溶接（　）　・無溶接継手　（4.3.6）
施工法　（4.3.3～4.3.5）
・特定埋込み杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの）
・打込み工法
・セメントミルク工法

	２　場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　（4.5.3）（表4.5.1） （　）種かつ（　）Ｎ/㎟　以上 セメントの種類　※高炉セメントＢ種　・　（4.5.3） 掘削工法　・アースドリル工法（※安定液使用　・無水掘削）　（4.5.4） ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　※行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　（4.5.5） ・拡底杭工法（※安定液使用　・　） 孔壁測定　・行う　・行わない　（4.5.4～4.5.5）
	③　砂利地業	※再生クラッシャラン　・　切込み砂利及び切込み砕石　（4.6.2）
	④　床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下（ピット下を除く）　（4.6.6） ・図示による
⑤鉄筋工事	①　鉄筋の種別	（5.2.1）（表5.2.1）

種類の記号	呼　び　径　（mm）	備　考
⊙ＳＤ３４５	Ｄ１６以上	異形鉄筋
⊙ＳＤ２９５Ａ	Ｄ１６未満	異形鉄筋
・		

	②　鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　⊙重ね継手　（5.3.4）
	③　鉄筋の最少かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する　（5.3.5） ⊙耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による

施　工　箇　所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※１０　・

	４　既成ｺﾝｸﾘｰﾄ杭の杭頭補強	・Ａ形　・Ｂ形　※図示　（別1.1）
	⑤　帯　筋	※Ｈ形（□は除く）　・　（別2.2）
	６　最上階柱頭補強	※行う　・　行わない　（別2.1）
	７　壁開口部の補強	一般壁　※Ａ形　・Ｂ形　・図示　（別4.2）（別表4.3）（別表4.4） 耐震壁　※図示
	⑧　梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　（別7.1）（別表7.1～別表7.3） ⊙既製品（建築基準法による指定又は認定を受けたもの）
	９　機械吊上げ用フック	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　（別 7.3） 箇所数　（　ヶ所）
	10　圧接完了後の抜取試験	※超音波探傷試験　・引張試験　（5.4.9）
⑥コンクリート工事	①　普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度	（6.1.4）

設計基準強度 Fc(N/㎟)	施　工　箇　所	スランプ
※２１	・基礎、土間コンクリート	・15cm
・２４	・	・
⊙１８	・捨てコンクリート ・	・15cm ・

※構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ：発注強度=設計基準強度（Ｆｃ）+割増し（ΔＦ）+温度補正（Ｔ）

	②　レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　（6.1.5）（表6.1.1）
⑥コンクリート工事	③　セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　（6.3.2）（6.13.2）（表6.3.1） ・高炉セメントＢ種（　） 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞの品質は、ＪＩＳ Ｒ5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352 J/g以下
	28d	402 J/g以下

	④　骨材の品質	アルカリシリカ反応性による区分　（6.3.3）（6.5.4） ⊙Ａ ・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Ｒｔ＝3.0kg/m³以下）
	⑤　混和材料の種別	※混和剤　・　混和材　（6.3.5）（6.4.8）
	⑥　無筋コンクリート	※下記のコンクリートは無筋コンクリートとして扱う。 ⊙捨てコンクリート
	７　ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体表面の処理	外装ﾀｲﾙ後張り面の躯体表面の処理　（6.9.3）（11.3.3）（15.2.4） ＭＣＲ工法又は15.2.4.(Ｏ)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督員の承諾を受ける。 適用範囲は１１章タイル工事３コンクリート素地面の処理による。 コンクリートの増打ち厚さ　※２０mm　・
	８　コンクリート打放し仕上げ	厚さは合板の厚さとする。　（表6.2.3）

種　別	コーン穴の仕上げ面	厚さ	施　工　箇　所
・Ａ種	・面うち　・面と同一	※12mm　・15mm	
・Ｂ種	・面うち　・面と同一	※12mm　・15mm	
・Ｃ種	・	・12mm	

	⑨　寒中コンクリート	⊙適用する　※適用しない　（6.12.1）
⑦鉄骨工事	①　鉄骨の製作工場	・監督員の承諾する製作工場　（7.1.3） ⊙建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（財）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Ｒグレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
	②　施工管理技術者	※適用する　・適用しない　（7.1.3）（7.1.4）
	③　鋼　材	鋼材の材質　（7.2.1）（表7.2.1）

種類の記号	使　用　箇　所	規格等
ＳＳ４００	補強梁、柱脚金物	※JIS規格による
ＳＵＳ３０４	柱脚金物	※JIS規格による

	４　高力ボルト	※ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ・ＪＩＳ形高力ﾎﾞﾙﾄ・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ　（7.2.2）
	⑤　工作図	高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　（7.3.2） ※別図２　・図示
	⑥　開先形状	※別図２　・図示　（7.6.4）
	⑦　スカラップ	※図示による　・監督員の指示による　（7.6.7）
	⑧　溶接部の試験	ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％　（7.6.11） 検査水準　※第６水準　・　図示　（7.6.11）（表7.6.2）

試験の種別	試験箇所	試験方法
・超音波探傷試験	・突き合わせ溶接部	※標仕7.6.11(b)による
		・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

	９　耐火被覆	（7.9.2～7.9.6）

種　別		所要性能及び適用構造区分
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ﾗｽ張り ﾓﾙﾀﾙ塗り		

	⑩　アンカーボルトの保持及び埋込み工法	※構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ（形状、寸法は図示による。）　（7.10.3） ・建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）　（表7.10.1）
	⑪　柱底均しモルタル	※Ａ種　・Ｂ種　（表7.10.2）
	⑫　錆止め塗料塗り	・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　（表18.3.1）
⑧コンクリート板工事	１　建築用コンクリートブロック	補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造　（8.2.2）

断面形状及び圧縮強さによる区分	厚さ（mm）	適　用　箇　所
※空洞ﾌﾞﾛｯｸ16		
・空洞ﾌﾞﾛｯｸ16-Ｗ		

押出成形セメント板工事	２　ＡＬＣパネル	（8.4.2～8.4.5）（表8.4.2）（表8.4.3）

種　類	単位荷重（N/㎡）	厚さ（mm）	取付け工法種別等
・外壁パネル	・1180 ・1960	・100	・A種　・B種　・C種
※平パネル		・120	
・意匠パネル		・	
・間仕切パネル		・80 ・100	・B種　・C種　・D種　・E種
※平パネル		・	
・屋根パネル	・980	・100	※標仕8.4.5による
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	耐火性能・有り（・1時間・2時間）

| 変更 | | | | |

8 プレキャストコンクリート板

3 押出成形セメント板（ＥＣＰ）

（8.5.2～8.5.4）（表8.5.1）（表8.5.2）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法	耐火性能
・外壁パネル	※フラットパネル			・A種	※有り（　）
	・デザインパネル			・B種	・無し
	・タイルベースパネル				
・間仕切壁パネル	※フラットパネル			・B種	※無し
	・デザインパネル			・C種	・有り（　）
	・タイルベースパネル				

9 防水工事

1 アスファルト防水

（9.2.2）（9.2.3）（表9.2.3）～（表9.2.8）

種別	施工箇所
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	
・	

アスファルト　※４種　・３種　（9.2.2）

断熱工法の断熱材　厚さ（mm）※　25mm　・　（9.2.2）

材質　※A種押出法ポリスチレンフォーム3種b

乾式保護材の材料　（9.2.2）

種類		寸法（mm）：厚さ×幅	適用
・押出成形セメント板（窯業系パネル）	※Ⅰ類	※１５　×	※無石綿に限る
	・Ⅱ類	・　×	
・金属複合板		※１２　×	

2 改質アスファルトシート防水

（9.3.2）（9.3.3）（表9.3.1）

種別	施工箇所
・ＡＳ－１	
・ＡＳ－２	

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

（9.4.2）（9.4.3）（表9.3.1）

種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・シルバー	・非歩行
・			・カラー	・軽歩行

ＰＣコンクリート部材下地　（9.4.4）

目地処理（接着工法）　※図示

入隅部の増張り（S-F1、S-F2工法の場合）　※行わない　・行う（幅　mm程度）

4 塗膜防水

（9.5.2）（9.5.3）（表9.5.1）（表9.5.2）

種別	施工箇所	備考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー

種別Ｘ－１の脱気装置

・設ける　材質　※製造所標準仕様　・（　）

設置数量　※製造所指定数量　・（　㎡当たり１箇所）

⑤ シーリング

下表以外は標仕表9.6.1による　（9.6.2）（表9.6.1）

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図面指示	ＭＳ－２

接着性試験　（9.6.5）

・行う　※簡易接着性試験　・引張接着性試験（施工部位　）

・行わない

6 防水の保証等

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、請負者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、請負者と施工者との連名の保証書とする

工法種別	施工箇所	保証期間
・　工法		１０年間
・　工法		１０年間
・　工法		１０年間

10 石工事

1 天然石張り

石の品質　（10.2.1）

床用石材　※２等品　・１等品（施工場所　）

壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工場所　）

石の種類・表面仕上げ　（10.2.1）（表10.2.1）（表10.2.2）

施工箇所	種類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・　（10.2.1）

表面仕上げ　※本磨き　・　（表10.2.2）

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・　行う　（10.6.2）

屋内のワックス掛け　・　行う　（10.1.5）

⑪ タイル工事

1 陶磁器質タイル

タイルの種類　（11.2.1）

施工場所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ 粒つ器	きじ 陶器	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、扉風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う（※外装タイル　・　）

2 壁タイル張り工法

内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　（11.3.3）（表11.3.2）

外装タイル　・　密着張り　・マスク張り

下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外装タイル　・　）

③ コンクリート素地面の処理

※ＭＣＲ工法又は目荒らし工法（ポリマーセメントモルタル下地）　（11.3.3）

施工範囲　※　図示

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法

（11.2.2）（11.4.2）（表11.4.1）

適用タイル	種別	タイル型枠先付面のせき板
・小口タイル	※タイルシート法	※標仕6.9.3[材料](b)(2)又は金属製タイル先付け用パネル
・二丁掛タイル	・目地樹工法	
・大形タイル	・桟木法	・

⑫ 木工事

① 木材の品質

※標仕12.2.1による　（12.2.1）

保存処理木材の適用箇所　※12.5.1(b)による

② 樹種

・標仕表12.2.3による　（12.2.1）

・代用樹種を適用しない箇所（　構造材　）

③ 集成材

（12.2.2）

品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	※たも・なら・しおじ	
⊙構造用集成材	※１級・２級	・米松	
⊙造作用集成材	※１級・２級	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１級・２級	・	

④ 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　（12.2.6）

⑤ 防腐・防蟻処理

防腐処理　※行う（適用範囲　※標仕12.2.8(c)による　・図示）　（12.2.8）

防蟻処理　・行う（適用範囲　）　（12.2.9）

防腐・防蟻処理は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。

ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

（13.2.2）（13.2.3）（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
瓦棒葺き 横葺き	※塗装溶融55％アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板	※0.4
	・	

2 折板葺

（13.3.2）（13.3.3）（表13.2.1）

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　）山ピッチ（　）　板厚　※　0.6　・　0.8
材料（規格等）	※塗装溶融55％アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　厚　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

③ とい

材種　※配管用鋼管　⊙鉄芯入硬質塩化ビニル管（13.5.2）（表13.5.1）

・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管

鋼管製といの防露　※　標仕表13.5.5による

掃除口　・有り　⊙無し

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※　適用する。　（14.1.3）

② ステンレスの表面仕上げ

（14.2.1）

種類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・№2Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
・	

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

（14.2.2）（表14.2.1）

種別	色合い	施工箇所
・Ｂ－１種	無着色	
⊙Ｂ－２種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	
・		

4 鉄鋼の亜鉛めっき

（14.2.3）（表14.2.2）

表面処理法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種（板厚6.0ｍｍ以上）	
	・Ｂ種（板厚3.2ｍｍ以上）	構造金物、雪止アングル
	・Ｃ種（板厚1.6ｍｍ以上）	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

⑭ 金属工事

⑤ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　（14.4.3）（表14.4.2）

※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔（mm） 野縁受、吊りボルト、インサート 中央部	周辺部	野縁	施工箇所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

6 金属成形板張り

（14.6.2）（表14.2.1）

形状	製法	材種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	色合い
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・B-1種 ・B-2種 ・	無着色 ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー
・パネル形	※プレス ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　（14.6.3）

7 アルミニウム製笠木

オープン形式アルミニウム製笠木の種類　（14.7.2～3）（表14.2.1）（表14.7.1）

種類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	※A-1又はB-1種（無着色） ・B-2種　・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	建築基準法に基づき指定する条件により定める
・250形	1.6以上		
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

8 手すり及びクラップ

（14.2.1）（14.8.2～3）（表14.2.2）

種類	材料の種別	表面処理
⊙手すり	※ステンレスss304	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・
	・鉄 ⊙アルミ＋樹脂	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・ 内部　※Ｅ種　・
・クラップ	※ステンレスss304	※研磨なし　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種　・

⑮ 左官工事

1 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　（表6.2.4）（15.3.1）（15.3.2）

施工箇所	平たんさ（mm）	備考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき　7以下	

② 仕上塗材仕上げ

（15.5.2）（表15.5.1）

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材ＲＳ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＳ ・	・ゆず肌　・凸部処理　※凹凸模様 耐候性　※３種　・２種　・１種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ ・ポリウレタン系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック
⊙エポキシ樹脂系	・	
⊙硬質ウレタン系	・	

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　（15.5.2）

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・特殊な建具の仮組等（建具番号　）　（16.1.4）

2 防犯建物部品

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による）　（16.1.6）

③ アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等　（16.2.2）（16.2.4）（表16.2.1）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

表面処理　（16.2.4）（表14.2.1）

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※Ｂ-１種	無着色
	⊙Ｂ-２種	標準色（※ブラウン系　⊙ブラック　・ステンカラー）
	・	・
内部建具	※Ｃ-１種又はＢ-１種	無着色
	⊙Ｃ-２種又はＢ-２種	標準色（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

④ 網戸

防虫網　（16.2.3）

網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス（SUS316）製

形式　⊙外部可動式　・固定式　・図示

5 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（16.3.2）（16.3.6）（表16.3.1）

※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性　（16.3.2）（表16.2.1）

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅950mm又は有効高さ2,100mmを超える場合）

※下表以外は表16.3.2による　（16.3.4）（表16.3.2）

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・図示

6 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（16.4.2）（16.4.6）（表16.3.1）

・適用する（適用箇所は建具表による）

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（16.5.2）（表16.3.1）

・適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性　（16.5.2）（表16.2.1）

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　（16.5.4）

曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　（16.5.5）

⑧ 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（図示）　鏡板（図示）　（16.6.2）

ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子　（表16.6.3）

⑨ 建具用金物

マスターキー　※製作する（２本）　・製作しない　（16.7.4）

鍵札数量　⊙錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする

⑩ 自動ドア開閉装置

（16.8.2）（16.8.3）（表16.8.3）

開閉方法	センサーの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ　⊙タッチスイッチ　※光線スイッチ ・音波スイッチ　・ペダルスイッチ　・熱線スイッチ　・光電スイッチ ・押しボタンスイッチ　⊙多機能便所スイッチ

凍結防止措置　※　行わない　・　行う（　）　（16.8.3）

11 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　（16.9.1）

12 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度　（　）N/㎡　（16.10.2）

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　（16.10.2）（表16.10.1）

危害防止装置　※　障害物感知装置（自動閉鎖型）　（16.10.2）

一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　（16.10.2）

⑬ 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　（16.11.2）

外部に面するシャッターの耐風圧強度　（　）N/㎡　（16.11.2）

スラット　厚さ（mm）　⊙0.5　・0.6　・0.8　・1.0　（表16.11.2）

材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯　・　（16.11.3）

形状　※インターロッキング形　・オーバーラップ形　（16.11.4）

ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　（表16.11.2）

シャッターケース　厚さ（mm）　⊙0.4　・0.8　・　（表16.11.2）

14 オーバーヘッドドア

（16.12.2）（16.12.3）

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛メッキ鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板（SUS304）
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	
		・バーチカル形	

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　（16.12.2）

⑮ ガラス

下記以外は、建具表による　（16.13.2）

・合わせガラス

特性による種類　※　Ⅱ-1類

⊙強化ガラス

材料板ガラスによる種類	特性による種類
⊙フロート強化ガラス	Ⅲ類（曲面はⅠ類）
⊙型板ガラス	

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスによる種類	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ　・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス	

⊙複層ガラス

品質	断熱性、日射遮へい性による区分
⊙断熱複層ガラス	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２
・日射熱遮へい複層ガラス	・Ｅ４　・Ｅ５

・熱線反射板ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
※熱線反射ガラス	※内面　・外面	・フロート板ガラス	※行わない
・高性能熱線反射ガラス	・内面	・熱線吸収フロート板ガラス	・行う
		・強化ガラス	
		・倍強度ガラス	

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ　・

⑯ ガラス留め材

ガラス留め材　（16.13.2）（表9.6.1）

建具の種類	材種
アルミニウム製	・シーリング材　※ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。

⑯ 建具工事

6 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（16.4.2）（16.4.6）（表16.3.1）

・適用する（適用箇所は建具表による）

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（16.5.2）（表16.3.1）

・適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性　（16.5.2）（表16.2.1）

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　（16.5.4）

曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　（16.5.5）

⑧ 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（図示）　鏡板（図示）　（16.6.2）

ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子　（表16.6.3）

⑨ 建具用金物

マスターキー　※製作する（２本）　・製作しない　（16.7.4）

鍵札数量　⊙錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする

⑩ 自動ドア開閉装置

（16.8.2）（16.8.3）（表16.8.3）

開閉方法	センサーの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ　⊙タッチスイッチ　※光線スイッチ ・音波スイッチ　・ペダルスイッチ　・熱線スイッチ　・光電スイッチ ・押しボタンスイッチ　⊙多機能便所スイッチ

凍結防止措置　※　行わない　・　行う（　）　（16.8.3）

11 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　（16.9.1）

12 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度　（　）N/㎡　（16.10.2）

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　（16.10.2）（表16.10.1）

危害防止装置　※　障害物感知装置（自動閉鎖型）　（16.10.2）

一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　（16.10.2）

⑬ 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　（16.11.2）

外部に面するシャッターの耐風圧強度　（　）N/㎡　（16.11.2）

スラット　厚さ（mm）　⊙0.5　・0.6　・0.8　・1.0　（表16.11.2）

材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯　・　（16.11.3）

形状　※インターロッキング形　・オーバーラップ形　（16.11.4）

ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　（表16.11.2）

シャッターケース　厚さ（mm）　⊙0.4　・0.8　・　（表16.11.2）

14 オーバーヘッドドア

（16.12.2）（16.12.3）

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛メッキ鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板（SUS304）
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	
		・バーチカル形	

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　（16.12.2）

⑮ ガラス

下記以外は、建具表による　（16.13.2）

・合わせガラス

特性による種類　※　Ⅱ-1類

⊙強化ガラス

材料板ガラスによる種類	特性による種類
⊙フロート強化ガラス	Ⅲ類（曲面はⅠ類）
⊙型板ガラス	

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスによる種類	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ　・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス	

⊙複層ガラス

品質	断熱性、日射遮へい性による区分
⊙断熱複層ガラス	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２
・日射熱遮へい複層ガラス	・Ｅ４　・Ｅ５

・熱線反射板ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
※熱線反射ガラス	※内面　・外面	・フロート板ガラス	※行わない
・高性能熱線反射ガラス	・内面	・熱線吸収フロート板ガラス	・行う
		・強化ガラス	
		・倍強度ガラス	

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ　・

⑯ ガラス留め材

ガラス留め材　（16.13.2）（表9.6.1）

建具の種類	材種
アルミニウム製	・シーリング材　※ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。

変更

三条市

三条市建築設計協同組合
電話 0256-32-5355
新潟県知事　登録番号（二）第3037号
管理建築士　一級建築士 第168593号 樋口　宏

設計者　一級建築士　第177868号　長野雄明　長野

審査	意匠	構造	機械	電気
樋口	山田	サブ欄		

工事名　下田地域交流拠点施設建設建築本体工事
図面名　特記仕様書（Ⅱ）
年月日　2012.6.30
縮尺　S=FREE
図面番号　AA-3／38
意　電
構　機

16 建具工事

17 ガラスブロック積み　（16.13.5）

寸法(mm)		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
145x145	50	※クリア ⊙乳白色		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による
・	・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・

シーリング材料

下記以外は標仕表9.6.1による　（16.13.5）（9.6.2）（表9.6.1）

被着体の組合せ	シーリング材の種別	
	記号	主成分による区分　耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は、認定を受けた条件による。

18 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１
・			

品質　ＪＩＳ Ａ 5759による

18 塗装工事

① 材料　（18.1.3）

※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。

② 素地ごしらえ　（18.2.7）（表18.2.7）

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びその他のﾎﾞｰﾄﾞ面の継ぎ目処理工法の場合

種別　※Ｂ種　・Ａ種（ 施工箇所:　　）

3 ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂クリアー塗り

適用範囲　ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板素地面

工法	塗料その他	塗付け量(Kg/㎡)
1　素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	
2　下塗り（1回目）	浸透性吸水防水材(ｼﾗﾝ系)	0.08
3　下塗り（2回目）	浸透性吸水防水材(ｼﾗﾝ系)	0.08
4　中塗り	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ﾜﾆｽ	0.10
5　上塗り	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ﾜﾆｽ	0.10

④ 塗装業者

※日本塗装工業会の会員　⊙監督員の承諾する業者

19 内装工事

① 接着剤　（19.2.2）（19.3.3）（19.5.6）（19.7.2）（19.8.2）

※接着剤に含まれる可塑材は、難揮発性とする。

② ビニル床シート張り　（19.2.2）

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＮＣ　・	※無地　・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（ 施工箇所　　）　（19.2.3）

3 ビニル床タイル張り　（19.2.2）

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(半硬質)	ＣＴ	※2.0	
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(軟　質)	ＣＴＳ	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ	・	
・置敷きビニル床タイル	ＨＴＬ	・	

④ 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用ﾀｲﾙ　（19.2.2）

適用箇所	種類	寸法（mm）	形状
屋内	⊙塩化ビニル系	※300×300　・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300　・	ＪＩＳ Ｔ 9251
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	による
屋外	⊙コンクリート系	※300×300×60　・300×300×30	色彩は黄色とする
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

5 ビニル幅木　（19.2.2）

高さ(mm)　※６０　・７５　・１００

6 帯電防止床ﾀｲﾙ張り　（19.2.2）

種類	厚さ(mm)	性能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0　・	体積抵抗値(ＪＩＳ Ｋ 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10^{9} Ω以下、又は、
・	・	漏洩抵抗値(ＪＩＳ Ａ 1454による)
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

7 カーペット敷き

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、消防庁長官の防炎表示の登録を受けたものとする。　（19.3.2）

・織じゅうたん　（19.3.3）（19.3.4）（表19.3.1）

種別	織り方	パイル形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	人体帯電圧	※単一色(無地)
・Ｂ種	・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※3kV以下	・柄物(標準品)
・Ｃ種	・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・	

・タフテッドカーペット　（19.3.3）（19.3.4）（表19.3.2）

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0　・	※全面接着工法	人体帯電圧
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	※3Kv以下
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		・
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・		

・タイルカーペット　（19.3.3）

種別	パイル形状	電気抵抗値(Ω)	施工箇所
※第一種	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※適用しない	
・	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・10^{9}Ω以下	

19 内装工事

⑧ 合成樹脂塗り床　（19.4.2）（表19.4.1～表19.4.7）

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ
⊙エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ
	・厚膜流し展べ仕上げ（ ※平滑　・防滑）
	・樹脂モルタル仕上げ（ ※平滑　・防滑）
	・防滑仕上げ

9 床用塗料塗り

材質　ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗料　（※標準色　・　　）

仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ

塗布量　プライマー塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5Kg/㎡以上とする。

10 防塵用塗料塗り

材質　水性ｱｸﾘﾙ系塗料　（※標準色　・　　）

仕上種別　ｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾛｰﾗｰ刷毛塗り）

塗布量　主剤2回りとし、総塗布量は0.25Kg/㎡以上とする。

11 フローリング張り　（19.5.2～19.5.7）（表19.5.1～表19.5.4）

品名	樹種	等級	板厚	工法	仕上塗装
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	・なら ・	・1等 ・	※15 ・	・釘留め工法 ・接着工法	・塗装品 ・無塗装品
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	・なら ・	・1等 ・	※15 ・	・ﾓﾙﾀﾙ埋込工法 ・接着工法	・ ・
・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・オーク ・	※Ｃ種 ・	・12 ・	※釘留め工法 ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品
・	・	・	・	・	・

12 畳敷き　（19.6.2）（表19.6.1）

適用箇所	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（※KT-Ⅲ・　）
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地	・Ｃ種　・Ｄ種（※KT-Ⅲ・　）

13 せっこうボード その他のボード張り　（19.7.2）（表19.7.1）

種類	JISの記号	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛セメント板	ＨＷ	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板	ＮＷ	・15　・20　・25
⊙けい酸カルシウム板	０．８ＦＫ	・　タイプ2（無石綿）
⊙ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9.0　・12.0　・　） ・凹凸タイプ（※12.0　・15.0）（（個）不燃）
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	⊙9.5（準不燃）　⊙12.5（不燃）
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｓ	⊙9.5（準不燃）　・12.5（準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
・難燃合板		
・		

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材　（19.7.2）（表9.6.1）

※適用する　・適用しない

⊙せっこうボードの目地処理　（表19.7.5）

目地処理の処理	施工箇所
⊙継目処理工法	ビニールクロス下地部分
・突付け工法	
・目透し工法	

14 吸音材　（表19.7.1）

種類	記号	厚さ(mm)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ2号32K	ＧＷ－Ｂ	※25　・

15 壁紙張り　（19.8.2）

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙製	織物	ﾋﾞﾆﾙ	化学繊維	無機質		
壁・天井	・	・	⊙	・	・	※不燃⊙準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　（19.8.3）（表18.2.4）（表18.25）（表18.2.7）

ﾓﾙﾀﾙ、ｺﾝｸﾘｰﾄ面　※Ｂ種　・Ａ種（ 施工箇所:　　）

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面　※Ｂ種　・Ａ種（ 施工箇所:　　）

16 断熱材

発泡剤による種別　※Ａ種（ 現場発泡の場合はＡ種１）　（19.9.2）（19.9.3）

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	※2種b	※一般部 ⊙屋根	※50 ⊙100	
保温板 ⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	※3種b （ｽｷﾝ層付け）	※接地部分 ・	※25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	－	難燃性を有するもの
		・一般部 ・	※15 ・	
・断熱材兼用型枠		・壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (t・㎡・kl/w)
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

20 ユニット及びその他工事

1 基本要求品質　（20.1.2）

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 耐震スリット

方向	表面仕上げ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)ｽﾘｯﾄ	・耐火型	・有り ・無し

	目地材	目地寸法(mm)
内壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ）	※20×10
外壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）	※20×10

3 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ　（20.2.2）

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能注(1)	表面仕上げ材注(2)
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾟｰﾀﾞｰ

※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標仕20.2.2(a)(2)による）

・図示

ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応

仕様　※製造所の標準仕様（ｺﾝｾﾝﾄ本体は別途設備工事）

ｺﾝｾﾝﾄの箇所数　※10～15㎡に1箇所程度

配線用取出しﾊﾟﾈﾙ

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%

配線取り出し開口　※40㎜×80㎜程度の開口

空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ

※無し

・有り（ ※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

4 可動間仕切り　（20.2.3）

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	仕上げ	遮音性(JISによる記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・50	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・ﾍﾞﾆｱ(ｱ)4	※ﾒﾗﾐﾝ樹脂又はｱｸﾘﾙ樹脂焼き付け ・ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	・有り

不燃材料の認定　・有り

5 移動間仕切り　（20.2.4）

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(注1)		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式 ・部分電動式

注1：ＪＩＳ Ａ 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。

注2：表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事 １５壁紙張りによる。

ﾊﾟﾈﾙ圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

6 トイレブース

表面仕上げ材　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）　（20.2.5）

⊙ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板

脚部　※幅木ﾀｲﾌﾟ　・支柱ﾀｲﾌﾟ

ﾄﾞｱｴｯｼﾞ　※ﾌﾗｯﾄ形　・曲面形

7 階段滑止め　（20.2.6）

材種　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・ｱﾙﾐ

形状　※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入り

両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※有り（ ｽﾃﾝﾚｽ製　※ﾋﾞﾆﾙ製）　・　無し

・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ無し

幅(mm)　・30　・35　・40　・

取付け方法　※接着工法　・　埋め込み工法

8 階段手すり

種別	施工箇所
※集成材ｸﾘｱｳﾚﾀﾝ仕上げ（市販品） 径　・38mm　・45mm　・60mm	
・ビニル製手すり（幅　約40mm）	

9 黒板及びホワイトボード　（20.2.8）

種類	寸法(mm)	備考
・黒板　※焼付け		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ　※ほうろう		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分

10 ブラインド　（20.2.12）

形式	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ｷﾞｱ式　⊙ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・	※25
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100

11 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

※市販品（ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材）

使用区分	溝幅×深さ（mm）
・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150　・120×150　・150x120
・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80　・150×80　・
・ｶｰﾃﾝ（又はﾚｰｽ共）	※150×80　・180×80　・150x120
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150　・

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

・図示

20 ユニット及びその他工事

12 ロールスクリーン　（20.2.13）

操作方法	ｽｸﾘｰﾝの種類	品質等
⊙ﾌﾟﾙｺｰﾄﾞ式（ストッパー付き）	⊙無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
・チェーン式	・遮光タイプ	
・電動式	・	

13 カーテン及びカーテンレール

カーテン　（20.2.14）

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	名称・品質	ひだの種類	備考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

カーテンレール　（20.2.14）

材種　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　・ｽﾃﾝﾚｽ製

形式　・片引き　・引分け（ ※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする）

1組の本数　・ｼﾝｸﾞﾙ　⊙ﾀﾞﾌﾞﾙ　・　図示

14 ピクチャーレール

レール　材質　ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（ｼﾙﾊﾞｰ）　形式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）

ランナー　材質　本体：真鍮製　フック：ステンレス製（可動式）　耐荷重　25kg程度／個　個数　２個／レール1ｍ

15 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
⊙額縁タイプ	下記以外全て	※450×450
・目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	・600×600

16 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ　・黄銅	下記以外全て	※600×600 鍵付
・ステンレス製			・

17 積雪表示板

※塩化ﾋﾞﾆﾙ製（白）、ステンレスﾅｯﾄ(10mm)４本詰め、文字入れ共

取付け場所（・図示　⊙監督員の指示による　）

寸法　１８０×１６０×５

18 室名札

材種　※塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製　・ｱｸﾘﾙ樹脂製　・

寸法　※260×80×5　・

受金具　・ステンレス(SUS304)　・

形式　・突出型　ケ所　⊙面付型　１３ケ所　※文字書込み　・文字彫込み

19 かぎ箱

市販品

形　式　⊙30組用　・60組用　・120組用　・

20 くつふきマット

市販品

材　質　・塩化ﾋﾞﾆﾙ製（ｺｲﾙ状　ステンレス製受枠）

・ﾋﾞﾆﾙ製（ステンレス製受枠）

・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（受枠とも）

・ステンレス製（受枠とも）

21 流し台ユニット

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※規制対象外　・第三種

種類	寸法（L=mm）	適用内容	規格・品質等
⊙流し台	※1050　・1500　・1800	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	・優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	ﾊﾞｯｶｶﾞｰﾄﾞ　※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200　・900　・600		⊙市販品
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※1段式	※市販品

22 屋内掲示板

枠の材質　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製

表面の材質　※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙ張り

23 洗面カウンター

材　種　⊙ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石（品質　※図示）

奥行き(mm)　・約450　⊙約600

24 敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）

※ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製の市販品程度

21 排水工事

① 排水管

排水管用材料　（21.2.1）（表21.2.1）（21.3.3）

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	※外圧管（※1種　・2種）	B形（ｺﾞﾑ接合）
⊙硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	※ＶＰ　・ＶＵ ・ＲＳ－ＶＰ　・ＲＳ－ＶＵ	
・		

変更

三　条　市

三条市建築設計協同組合
新潟県知事　登録番号（二）第3037号
管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏
電話 0256-32-5355

設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明 長野

審査	意匠	構造	設備	電気
樋口	山田			

工事名称　下田地域交流拠点施設建設建築本体工事
図面名称　特記仕様書（Ⅲ）
年月日　2012.6.30
縮尺　S=FREE
図面番号　AA-4／38
意　電　構　機

21 排水工事

2 排水桝及びふた

鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた (21.2.2)

種類		適用荷重
・水封形	・密閉形(ﾃｰﾌﾞ→ ﾊﾟｯｷﾝ式)	・T－2用
・簡易気密形(ﾊﾟｯｷﾝ式)	・中ふた付密閉形	・T－6用
		・T－20用

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・	・桝ふた用	・T- 2用	※普通目	※平形
	ﾎﾞﾙﾄ固定	・かさ上げ用	・T- 6用		
	※無し	・U字溝用	・T-14用	※細目	・凹凸形
	・図示		・T-20用		

3 埋戻し土

※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)

22 舗装工事

1 盛土に用いる材料

・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)

2 凍上抑制層の材料

※再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ ・ ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 切り込み砂利 (22.2.3)

3 路床安定処理

※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

種類 ・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種

・高ﾋﾞｰｽﾞｾﾒﾝﾄB種 ・生石灰( ) ・消石灰( )

添加量 kg／m3(目標CBR ※5 ・)

・ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙによる安定処理

ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙの品質

単位面積質量 60g/㎡以上 厚さ(mm) 0.5～1.0

引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm) 以上

透水計数 0.15cm/sec以上

4 路床の試験

・支持力試験を行う(※乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)

・路床締固め度の試験を行う

・砂の粒度試験を行う

5 路盤材料

※再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC－40) (22.3.3)(表22.3.3)

・ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(C －40)又はｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ(CS －40)

・粒度調整砕石

6 路盤の締固め度試験

※行う (22.3.5)

7 アスファルト舗装

(22.4.2)(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	ｶﾗｰ舗装の種類
※ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
・ｶﾗｰ舗装	※無し ・有り	・

ｶﾗｰ舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)

ｱｽﾌｧﾙﾄ ※再生ｱｽﾌｧﾙﾄ ・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ (22.4.3)

加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

区分	・一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
	・粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	・細粒度ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
基層	・粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20)	

ｼｰﾙｺｰﾄ ※行わない ・行う(施工範囲:) (22.4.5)

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

8 コンクリート舗装

早強ｾﾒﾝﾄ ※使用しない ・使用する (22.5.3)

注入材料 ※低弾性ﾀｲﾌﾟ ・高弾性ﾀｲﾌﾟ (22.5.3)(表22.5.3)

溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)

9 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.6.6)

厚さ試験 ※行わない ・ 行う (22.5.6)

10 排水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

排水性舗装用ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (22.7.3)(表22.7.2)

※改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ種 ・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ種

ﾀｯｸｺｰﾄ用ｺﾞﾑ入り ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤の種類 (22.7.3)(表22 .7.3)

適用時期	種類
下記以外	PKR－T1
冬期	PKR－T2

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)

11 ブロック系舗装

・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類		寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板(N)	・ｶﾗｰ平板(C)	※300角	※60	※砂
・洗出平板(W)	・擬石平板(S)			・ﾓﾙﾀﾙ

・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等
※普通ﾀｲﾌﾟ	5.0N/mm2以上	車道部 ※80・	※標準ﾀｲﾌﾟ
・誘導、注意喚起用ﾀｲﾌﾟ		歩道部 ※60・	・表面化粧ﾀｲﾌﾟ
・透水性ﾀｲﾌﾟ	3.0N/mm2以上		誘導、注意喚起用
・植生ﾀｲﾌﾟ	4.0N/mm2以上	※80 ・ 100	は黄色とする

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※小舗石(花崗岩)	※80～100	※うろこ張り	※ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・	・	・	・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

22 舗装工事

12 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用
JIS K 5665	・1種	常温	液状	幅 ※150	※白
	・2種	加熱			・黄
	※3種1号	溶融	粉体状	厚さ ※1.0	

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

23 植栽工事

1 土壌の酸度、水溶性塩類(EC)の試験

※行う (23.1.3)

2 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲
※行う ・行わない	※20 ・	※B種 ・	※植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12以上	※100 ・	※A種	※築張りの範囲
・7以上～12未満	※80 ・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※60 ・	・C種	・図示
・3未満	※50 ・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

3 植込み用土

※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.3.2)

4 土壌改良材

※適用する (23.2.3)(23.2.4)

施工箇所 ※植栽範囲 ・図示

5 支柱材

※防腐処理杉丸太 ・杉の焼き丸太 ・竹 (23.3.2)

6 幹巻き用材料

※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ ・わら及びこも (23.3.2)

7 芝張り

種類 ※こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)

8 枯補償及び枯損処理

期間 ※引渡しの日から1年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)

・ 年間 ・ 年 月 日迄

9 屋上緑化システム

土壌層 ※改良土 ・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)

厚さ mm

保水・排水層 ・軽量骨材層(厚さ mm) ・板状成形品 (23.5.3)

※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

24 追加特記

① 公共事業労務費調査への協力

※協力する

② 工事監理方式

共同監理 ⊙有り ・無し

③ 適用基準等

・営繕工事電子納品要領(案)(国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修)

※工事運行マニュアル(新潟県土木部都市局営繕課作成)

・

※作成する

④ 総合図

⑤ 工事施工等の申出について

※請負者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は、工事運行マニュアルによる。)

⑥ 排出ｶﾞｽ対策型等建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ｶﾞｽ対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号)」に基づき指定された排出ｶﾞｽ対策型建設機械を使用するものとする。排出ｶﾞｽ対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ｶﾞｽ浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ｶﾞｽ浄化装置を装着(黒煙浄化装置付)することで、排出ｶﾞｽ対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機種	備考
一般工事用建設機械	
・バックホウ	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上260kW以下)を搭載した建設機械に限る。
・トラクタショベル(車輪式)	
・ブルドーザ	
・発動発電機(可搬式)	
・空気圧縮機(可搬式)	
・油圧ユニット類	
以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの	
油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル	
アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機	
・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
・ホイールクレーン	

※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。

24 追加特記

⑦ 工事区分表

注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		建	電	空	衛	昇	備考
躯体関係							
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌﾞ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
	ｽﾘｰﾌﾞ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌﾞ・補強	○					
	使用されたｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
	予備ｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)		○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえｺﾝｸﾘｰﾄにｱﾝｶｰしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○		
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○					
仕上げ関係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用するﾎﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないﾎﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		
電気関係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作ｽｲｯﾁの取付及び渡り配管配線			○	○		

8 発生材の処理等

1 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

4 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	
処理施設名称	
施設所在地	
連絡先	
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

⑨ 化学物質の濃度測定

1)測定時期

・測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。

※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド (指定値0.08ppm以下)

※トルエン (指定値0.07ppm以下)

※キシレン (指定値0.2ppm以下)

※エチルベンゼン (指定値0.88ppm以下)

※スチレン (指定値0.05ppm以下)

⊙パラジクロロベンゼン (指定値0.04ppm以下)

3)測定室

・直売所 (測定箇所 1箇所)

・休憩、情報コーナー、事務室 (測定箇所 1箇所)

・漬け物加工室 (測定箇所 1箇所)

・菓子製造室 (測定箇所 1箇所)

4)測定方法

測定機器

※パッシブ型採取機器

⊙監督員の承諾する機器

測定要領

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉(造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※ 測定は次のイ～ハによる。

イ 上記測定前の措置の状態のままで測定する。

ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5)測定結果の分析

※測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

7)報告書の提出

※完了検査日までに報告書を提出する。

10 CALS/EC

本工事は、新潟県CALS/EC整備行動計画(アクションプログラム) に基づく電子納品対象工事であり、以下の各項により履行するものとする。

1 請負者は、契約期間中に監督員と協議を行う場合、新潟県CALSシステム(以下「CALSシステム」という。)を利用して電子協議(注1)を行わなければならない。

2 請負者は、CALSシステムを利用して、監督員との協議に従い工事完成図書の一部について、電子納品(注2)を行わなければならない。

3 工事完成図書の提出方法および提出部数については、電子成果品としてCD－R2部(枚) および紙による成果品として1部納品するものとする。なお、電子成果品のうち、「新潟県CALSシステムで交換された書類(打合せ簿等)」、「写真」、「参考図」については、電子成果物のみの納品とするが、それ以外の書類を電子成果品にて納品した場合は、紙による納品も追加するものとする。

4 請負者は、CALSシステムを利用して電子協議および電子納品を行うため、インターネットが利用できる機器および電子納品のデータを作成するための機器を用意しなければならない。

5 監督員が請負者に口頭・電話・電子メール等で指示等を行った場合、請負者は後日電子協議システムを通じ監督員の確認を得なければならない。

6 請負者は、CALSシステムの利用料を、新潟県よりCALSシステム運営業務を受託している者(以下「運営者」という) に支払うこと。なお、新潟県CALSシステムの利用料として、設計書内に積上げ計上している。

7 CALSシステムの利用料を支払った時は、すみやかに監督員に支払の事実を報告し確認を受けること。また、支払いの事実を証明する書類(銀行振り込み控えの写し等) を工事完了時に提出すること。

8 上記以外の電子協議および電子納品に関する詳細な事項については、受発注者協議にて定めるものとする。

電子検査 ※実施する ・実施しない

電子検査に係わる詳細な事項については、別途県が公表する(注3) 平成22年度電子検査実施要領」による。

(注1)電子協議とは、指示・承諾・協議・提出・提示・報告・通知等を、電子化された書面及びその他資料(図書類) にて行うことをいう。

(注2)電子納品とは、工事完成図書等の最終成果を電子成果品として納品することをいう。ここでいう電子成果品とは、別途県が公表する(注3) 新潟県土木部策定の「平成22年度新潟県電子納品実施要領」に基づいて作成された電子データを指す。

(注3)新潟県CALS/ECホームページにて公表する。

11 中間技術検査

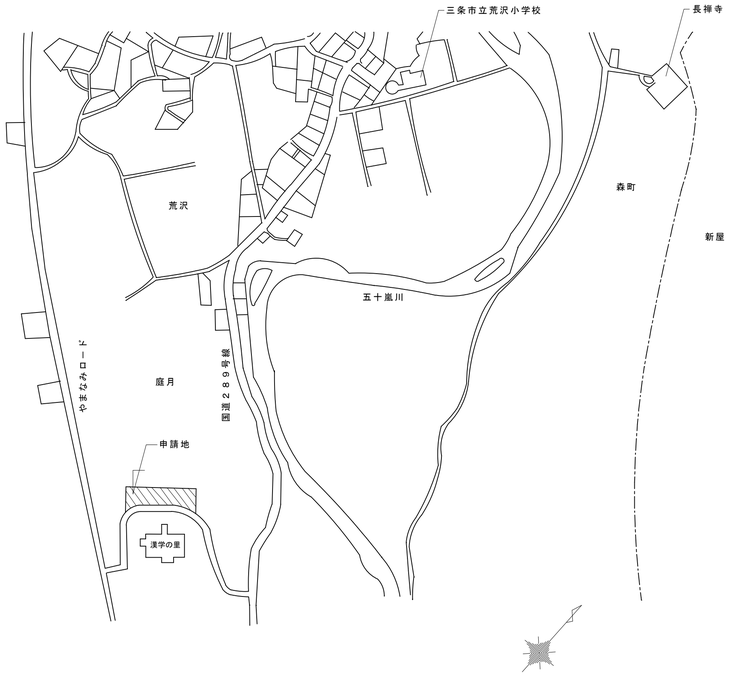
・本工事は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

・低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

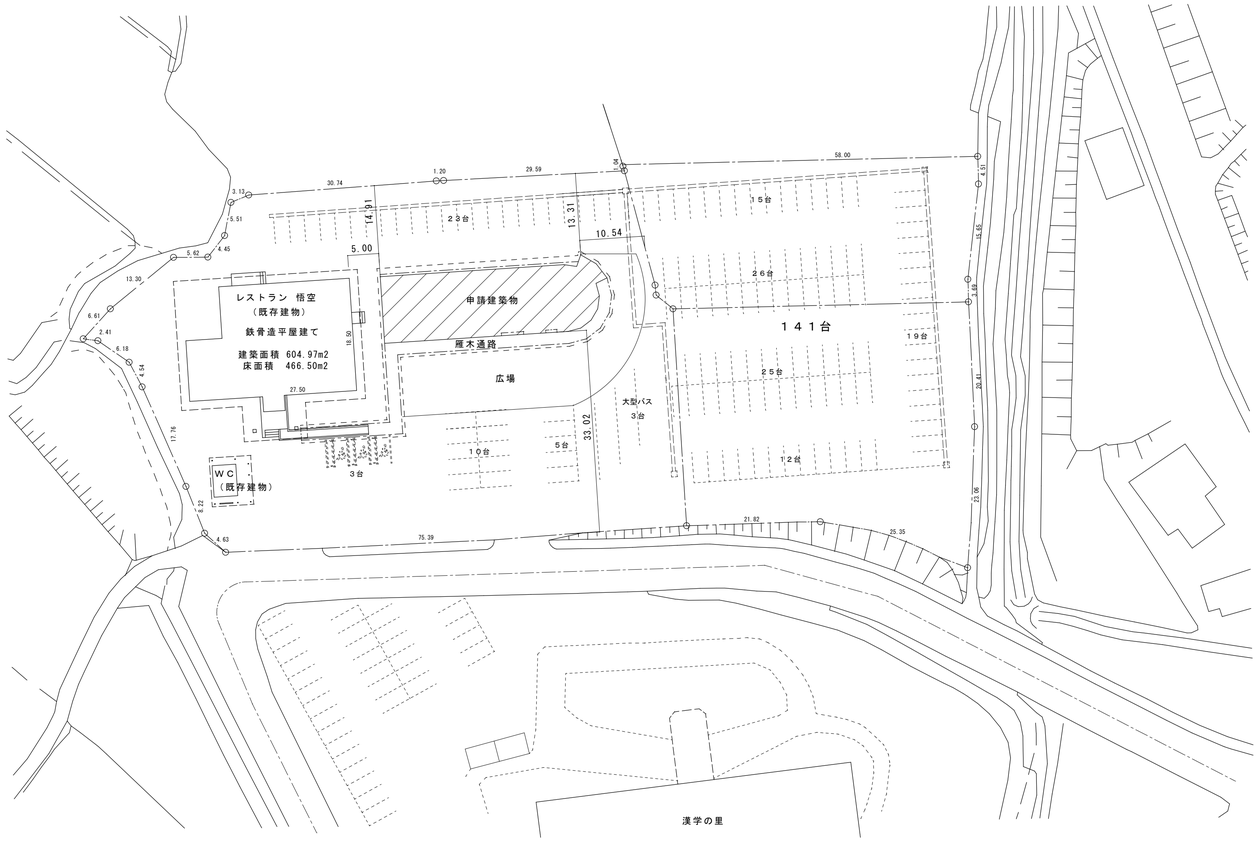
12 工事成績評定

請負者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

| 変更 | | | | | | |



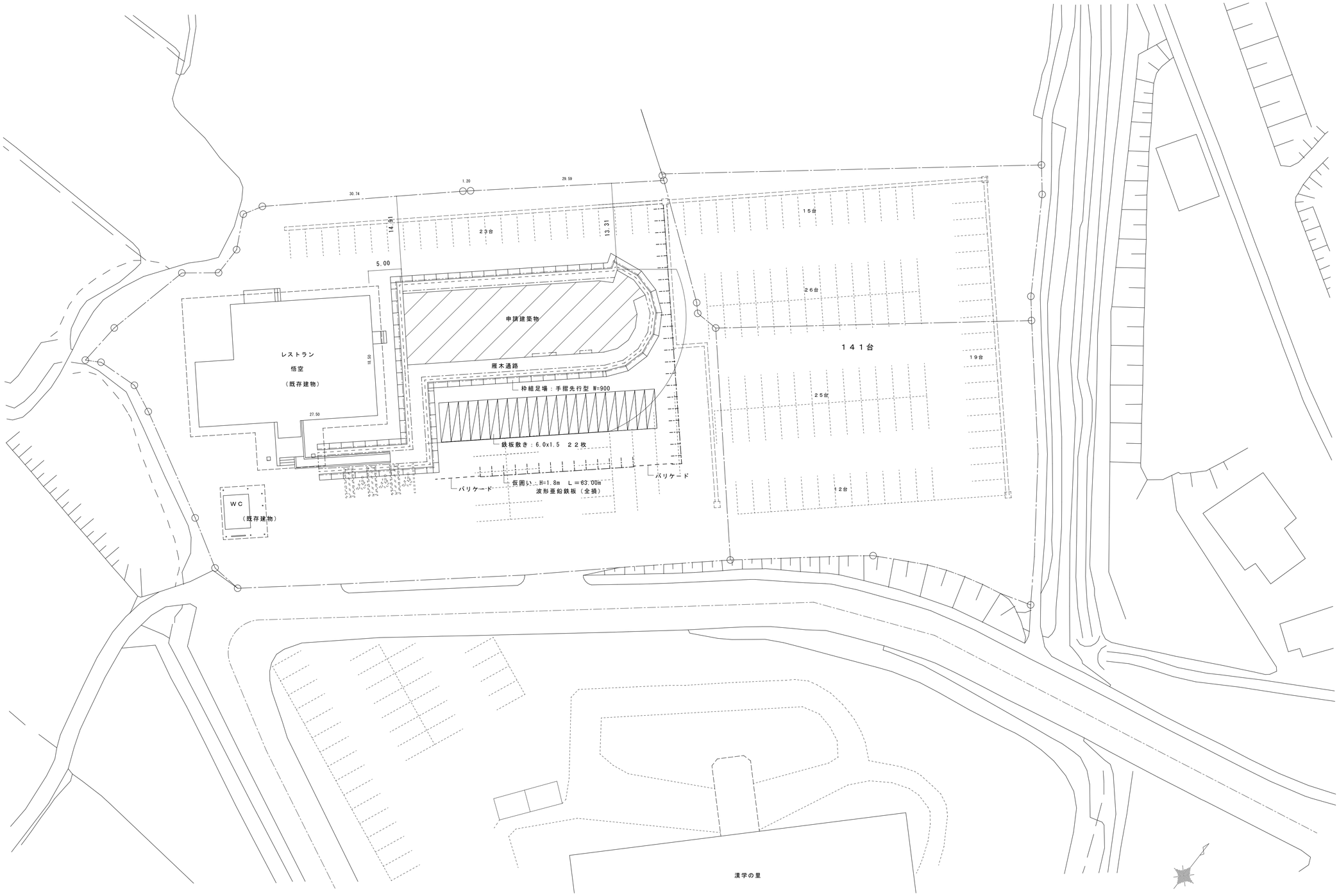
案内図



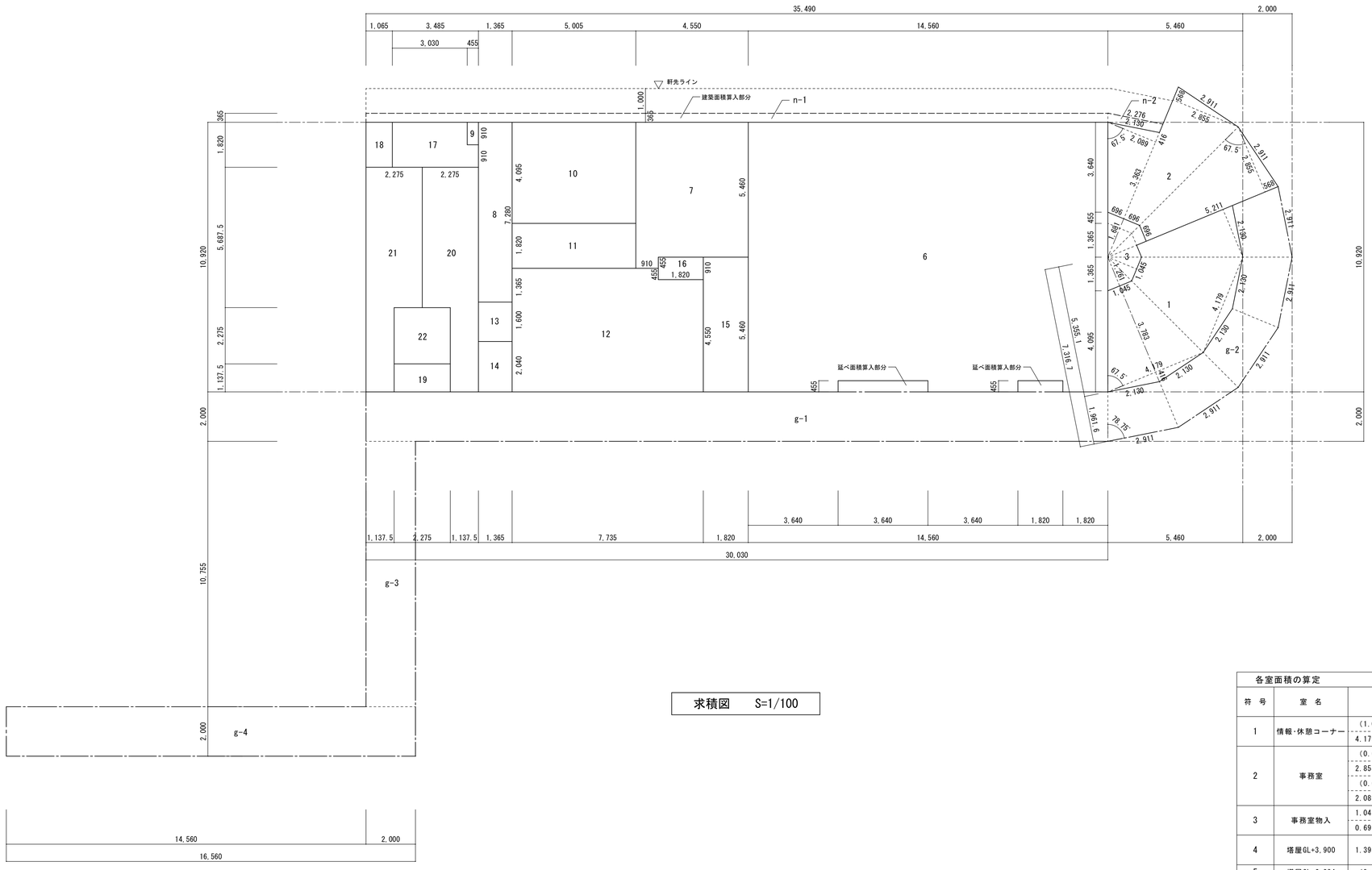
配置図 S=1/500

敷地面積 7,827.99m²

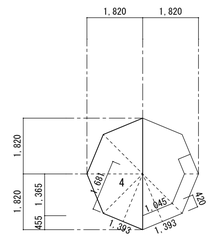
変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事 登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355 管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明	長野	工事名称	下田地域交流拠点施設建設建築本体工事	年月日	2012.6.30	図面番号	AA-6／38
				審査	樋口 / 山田	意匠		縮尺	S=1/500	意	電
				サブ図		構造		図面名称	案内図・配置図	構	機
						機械					
						電気					



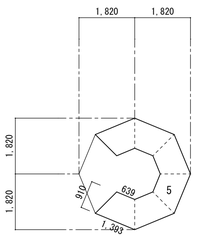
変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事 登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355 管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野暁明	長野	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事	年月日 2012.6.30	図面番号 AA-7／38
				審査	樋口 / 山田	図面名称 直売加工所建設 仮設計画図	縮尺 S=1/300	意 電 構 機



求積図　S=1/100



求積図GL+3,900　S=1/100



求積図GL+6,084　S=1/100

注記：塔屋部分キャットウォークは、延べ面積には算入するが、階数、建物高さには算入しない。
（令２条１項四号、令２条１項六号、令２条１項八号）

各室面積の算定

符　号	室　名	計　算　式	(小計)	面　積(㎡)	床面積に対して 1/20面積(㎡)	床面積に対して 1/50面積(㎡)
1	情報･休憩コーナー	(1.045＋4.179) ×3.783×1/2×2.5＝	24.703			
		4.179×0.416×1/2×2.5＝	2.173	26.87	1.35	0.54
2	事務室	(0.696＋2.855) ×5.211×1/2×2＝	18.504			
		2.855×0.568×1/2×2＝	1.622			
		(0.696＋2.089) ×3.363×1/2＝	4.683			
		2.089×0.416×1/2＝	0.435	25.24	1.27	0.51
3	事務室物入	1.045×1.261×1/2×2.5＝	1.647			
		0.696×1.681×1/2×3＝	1.755	3.40		
4	塔屋GL+3,900	1.393×1.681×1/2×4＝	4.683	4.68		
5	塔屋GL+6,084	(0.639＋1.393) ×0.91×1/2×6＝		5.55		
6	直売所	10.92×14.56－3.64×0.455－1.82×0.455＝		156.51	7.83	3.14
7	バックヤード	5.46×4.55＋0.455×0.91＝		25.25	1.27	0.51
8	通用口、廊下	7.28×1.365＝		9.93	0.50	0.20
9	通用口下足棚	0.91×0.455＝		0.41		
10	漬物加工室	4.095×5.005＝		20.49	1.03	0.41
11	保存室	1.82×5.005＝		9.10		
12	菓子製造室	4.55×7.735＋0.455×5.915＝		37.88	1.90	0.76
13	冷蔵保管庫	1.60×1.365＝		2.18		
14	原材料保管庫	2.04×1.365＝		2.78		
15	試食用キッチン	5.46×1.82＝		9.93	0.50	0.20
16	中廊下	0.91×1.82＝		1.65	0.09	0.04
17	ロッカー室	1.82×3.03＋0.91×0.455＝		5.92	0.30	0.12
18	スタッフ用トイレ	1.82×1.065＝		1.93	0.10	0.04
19	トイレ入り口	1.1375×2.275＝		2.58		
20	男子トイレ	5.6875×2.275＋3.4125×1.1375＝		16.82	0.85	0.34
21	女子トイレ	5.6875×2.275＋3.4125×1.1375＝		16.82	0.85	0.34
22	多目的トイレ	2.275×2.275＝		5.17	0.26	0.11
g-1	雁木	2.00×30.03＝	60.060			
g-2	雁木	(2.13＋2.911) ×1.9616×1/2×5＝	24.721	84.78		
g-3	雁木（渡り廊下）	10.92×2.00＝	21.84			
g-4	雁木（渡り廊下）	2.00×16.56＝	33.12	54.96		
n-1	軒下	0.365×30.03＝	10.961			
n-2	軒下	(2.13＋2.276) ×0.365×1/2＝	0.804	11.76		

新潟県福祉のまちづくり条例 公共的施設用途面積の算定

符　号	室　名	面　積(㎡)
1	情報･休憩コーナー	26.87
2	事務室	25.24
3	事務室物入	3.40
6	直売所	156.51
7	バックヤード	25.25
15	試食用キッチン	9.93
19	トイレ入り口	2.58
20	男子トイレ	16.82
21	女子トイレ	16.82
22	多目的トイレ	5.17
	雁木（床面積算入部分）	2.48
合　計		291.07

公衆便所床面積の算定		
19	トイレ入り口	2.58
20	男子トイレ	16.82
21	女子トイレ	16.82
22	多目的トイレ	5.17
合　計		41.39

延べ面積の算定

算定箇所	計　算　式	(小計)	面　積(㎡)
1階	10.92×30.03＝	327.9276	
	2.13×5.3551×1/2×6＝	34.2191	
	2.911×7.3167×1/2×2＝	21.2989	
			(383.4456)
塔屋 GL+3,900	1.393×1.681×1/2×4＝	4.6833	
			(4.6833)
塔屋GL+6,084	(0.639＋1.393) ×0.91×1/2×6＝		(5.5474)
		延べ面積	393.67

建築面積の算定

算定箇所	計　算　式	(小計)	面　積(㎡)
主建物（本体雁木含む）	(10.92＋2.00) ×30.03＝	387.9876	
	2.911×7.3167×1/2×7＝	74.5462	
	2.13×5.3551×1/2×1＝	5.7032	
雁木（渡り廊下部分）	10.755×2.00＝	21.5100	
	2.00×16.56＝	33.1200	
軒出算入部分	0.365×30.03＝	10.9610	
	(2.13＋2.276) ×0.365×1/2＝	0.8041	
		建築面積	534.63

変更										

三　条　市

三条市建築設計協同組合
電　話 0256-32-5355
新潟県知事　登録番号（二）第3037号
管理建築士　一級建築士 第168593号 樋口　宏

設計者	審査		意匠	構造	積算	電気
一級建築士　第177868号　長野暁明 (長野)	樋口	山田	サブ 金子			

工事名称：下田地域交流拠点施設建設建築本体工事
図面名称：直売加工所建設　面積表、求積図
年月日：2012.6.30
縮　尺：S=1/100
図面番号：AA-8／38
意 電 構 機

外部仕上表

屋　根	耐摩カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4 瓦棒葺き@364、　耐摩カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4 横葺き（ＡＴ式）	塗　装	表し木部（雁木柱、筋違い、梁、及び特記箇所）：木材保護含浸塗料塗り（WPS）	仕様・等級	
屋根下地	下地：ゴムアスルーフィング(ｱ)1.0、　下地：シージングボード(ｱ)12、　野地板：構造用合板(ｱ)12	小屋裏換気	アルミフード付ガラリφ150（防虫網付）、　軒天換気口	杉板（外壁用、内装用共）：上小節	
軒　裏	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透かし張り（B=5、@910）　ＥＰ　　軒先換気口：既製品、但し片流れ屋根水上軒先は、ステンレスメッシュ加工取付	雁　木	屋根：耐摩カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4 横葺き（ＡＴ式）及び耐摩カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4 立ハゼ葺き（ｹﾚﾓﾉ･ｱｰﾙﾙｰﾌ ﾌﾞ同等品）　下地：ゴムアスルーフィング(ｱ)1.0、　野地板：杉板(ｱ)12	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）：ABC商会「ﾀﾌｸﾘｰﾄE」同等品	
外　壁	金属系断熱サイディング(ｱ)15 タテ張（スタッコ調、及びリブタイプ）、中間見切：同シリーズ専用品		床：モルタル金ゴテ(ｱ)40 目地切り@1,820、立上り：モルタル金ゴテ(ｱ)20、点字タイル300角（誘導用床材及び注意喚起用床材）、	厚膜型水性ｳﾚﾀﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系塗床材(ｱ)6（防滑工法）耐熱型：ABC商会「ﾀﾌｸﾘｰﾄＭＨ」同等品	
	杉板(ｱ)12（働き巾108、上小節）実継目透かし 縦張り WPS、　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5（不燃）、　円形部出隅役物：杉（上小節）WPS		手摺：耐候性樹脂手摺φ34程度（アルミ芯材、端部折曲型、アルミ受金具、１ヶ所横断用遮断機式）、　樹脂製埋込靴拭マット（直売所前）、　案内サイン看板＋取付板：杉(ｱ)30	塗床材壁用（ﾛｰﾗｰ仕上）：ABC商会「ﾀﾌｸﾘｰﾄE−RW」同等品	
外壁下地	通気胴縁：45×18@455（通気層18）、　透湿防水シート、　外壁内断熱材：グラスウール（24K）(ｱ)100		一部既存雨水枡移設並びに雨水配管φ100盛替え・延長・経路変更、　一部給水管：工事中撤去及び復旧	敷布型美装床仕上材（ｺﾝｸﾘｰﾄ同時散布工法）：ABC商会「ｶﾗｸﾘｰﾄ」同等品	
外壁通気部材	軒下通気見切：カラーＧＬ鋼板（既製品：金属サイディング専用部材、止縁共）、　外壁下端水切：カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4、ステンレスメッシュ取付（防虫用）	犬走り	コンクリート(ｱ)150 即時金ゴテ	化粧ケイ酸カルシウム板：アイカ「ハイボード不燃」同等品	
地　覆	押出発泡ポリスチレン板(ｱ)40（防蟻剤入）打込み、　仕上：ガラス繊維ネット張り、ＣＦモルタル(ｱ)5・刷毛引き仕上	目隠し壁	杉 120×30 タテルーバー @100 WPS、　支持水平材：杉 135角 WPS（上下共）	軒先通気口：フクビ「VA-200」同等品	
破風鼻隠し	カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4、　下地：杉板(ｱ)24（防腐剤塗り）	シーリング	変成シリコン（MS-2）	消火器：粉末（ABC）消火器10型（A-3、B-7、C）、消火器設置台（表示付）共	
雨樋	耐雪＋落葉除け機能搭載ガルバリウム雨樋（ﾀﾆｶﾜｳｼﾞﾝｸﾞｳｪｱ「ユキノキ」同等品）　吊金具（専用品）@303　（北西側軒先のみ雨樋設置）、タテ樋：同シリーズ75φ（7本）			ＬＧＳ野縁間隔：特記なき場合、水平天井においては@364、斜天井においては@303とする。	
水切り・雨押え	カラーＧＬ鋼板(ｱ)0.4 加工				
開口部	カラーアルミ断熱サッシ＋複層ガラス、　スチール製軽量シャッター、　アルミサッシ枠＋ガラスブロック				
庇（霧よけ）	既製品				

内部仕上表

階	室　名	床	巾　木	H	壁	天　井	天井下地	廻縁	天井高	備　考	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ	室名札	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶｰﾃﾝ	消火器
	休憩･情報コーナー	コンクリート(ｱ)150　散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法） 樹脂製点字タイル（注意喚起用、誘導用）300角　貼り付け	見切：杉 60×21 見切：杉 135×21 薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	230 550	ビニールクロス貼（基材同等）　下地：ＰＢ(ｱ)12.5（不燃） 杉板(ｱ)12（働き巾108）実継 目透かし 縦張り　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	ビニールクロス貼（基材同等）　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 一部梁表し：見切 杉 18×24	LGS19	杉 36×36	3,520 ～ 5,600	情報カウンター：赤松集成材(ｱ)30 UC、ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板：メラミンポストフォーム 天井点検口（アルミ枠450角）、掲示板（アルミ枠1200×900,ﾋﾟｽﾝﾏｸﾞﾈｯﾄ両用） ベンチ（家具工事）、手洗器、化粧鏡（機械設備）	ﾌｯｸ,ﾊﾝｶﾞｰ5本		○ ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（防炎品）	○ （1ヶ所）
	事務室	コンクリート(ｱ)150　散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法） 見切：杉 60×21 見切：杉 135×21 薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	550	ビニールクロス貼（基材同等）　下地：ＰＢ(ｱ)12.5（不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,700	天井点検口（アルミ枠450角）、ミニキッチン（1型1,200 100V・１Ｈコンロ1口付） ライニング天板：メラミンポストフォーム 案内カウンター（家具工事）		○	○ 横ｱﾙﾐﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	
	事務室物入	コンクリート(ｱ)150　モルタル金ゴテ　(ｱ)30	コンクリート打放し	550	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）　素板　塩ビジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）					アルミ製ハシゴ		○		
	塔屋上部	構造用合板(ｱ)24（1類･針葉樹）　框（見切）：集成材 24×60	巾木：集成材 60×20	60	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）　素板　塩ビジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁 杉 18×24	8,204 (1FL3ｹｲ)	アルミ製ハシゴ、キャットウォーク手摺（木製）、天井点検口（アルミ枠450角）				
	直売所	コンクリート(ｱ)150　散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法）	見切：杉 60×24 薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	550	杉板(ｱ)12（働き巾108）実継 目透かし 縦張り　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） ロックウール天井板(ｱ)9.5（準不燃）（直張り工法）910×910　鉄骨部：SOP	ロックウール天井板(ｱ)9.5（直張り工法）910×910（準不燃） 折曲部見切：杉 30×15	LGS19 (@303)	杉 60×21 杉 36×36	3,550 ～ 7,795	天井点検口（アルミ枠450角）、冷蔵ショーケース サッカー台、精米台、陳列什器、レジ台（家具工事）、レジシステム（情報機器設備） 手洗器、化粧棚、化粧鏡（機械設備）			○ ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（防炎品）	○
	バックヤード	コンクリート(ｱ)150　散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法）	コンクリート打放し	550	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）　素板　塩ビジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 一部 化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）塩ビジョイナー掛　下地：コンパネ(ｱ)12、二重張	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	3,300 ～ 5,248	造付書類棚、冷蔵庫、パンラック 手洗器、化粧鏡（機械設備）		○		○ （1ヶ所）
	通用口	コンクリート(ｱ)150　モルタル金ゴテ　(ｱ)30	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	650	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,800	框：花崗岩 水磨 100×120 下足棚（家具工事）		○		
	廊下	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,700					
	漬物加工室	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	150 580	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：防水ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 一部：ステンレス板張り(ｱ)0.4　下地：ケイ酸カルシウム板(ｱ)6+防水ＰＢ(ｱ)9.5 （下張アルミジョイナー）	アルミ製浴室天井用バスパネル(ｱ)9.5（不燃）働き幅200 下地：気密防湿シート張り（気密防湿テープ止め）	LGS19 (@303)	専用ｱﾙﾐ廻縁	3,000	グレーチング：ステンレス　ピット用(P15)ノンスリップ型、騒音防止パッキン付 ライニング天板：ステンレス板(ｱ)0.4巻、天井点検口（アルミ枠450角）、厨房機器 手洗器、化粧鏡（機械設備）		○	○ ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（防炎品）	
	保存室	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	580	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：防水ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,700			○		
	菓子製造室	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型水性ウレタンコンクリート系塗床材(ｱ)6（防滑工法）耐熱型	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	150 580	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：防水ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 一部：ステンレス板張り(ｱ)0.4　下地：ケイ酸カルシウム板(ｱ)6+防水ＰＢ(ｱ)9.5 一部引戸引代部分壁下地：ラワン合板Ｔ1(ｱ)5.5　（下張アルミジョイナー）	アルミ製浴室天井用バスパネル(ｱ)9.5（不燃）働き幅200 下地：気密防湿シート張り（気密防湿テープ止め）	LGS19 (@303)	専用ｱﾙﾐ廻縁	3,000	グレーチング：ステンレス　ピット用(P15)ノンスリップ型、騒音防止パッキン付 ステンレスフード下がり壁、ライニング天板：ステンレス板(ｱ)0.4巻、厨房機器 天井点検口（アルミ枠450角）、　手洗器、化粧鏡（機械設備）		○	○ ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（防炎品）	○ （1ヶ所）
	原材料保管庫	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ 一部基礎断熱箇所アリ	550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：防水ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,700			○		
	試食用キッチン	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：防水ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 一部 ステンレス板張り(ｱ)0.4　下地：ケイ酸カルシウム板(ｱ)6+防水ＰＢ(ｱ)9.5 （下張アルミジョイナー）	アルミ製浴室天井用バスパネル(ｱ)9.5（不燃）働き幅200 下地：気密防湿シート張り（気密防湿テープ止め）	LGS19 (@303)	専用ｱﾙﾐ廻縁	2,700	ステンレスフード下がり壁、天井点検口（アルミ枠450角）、厨房機器 カウンター（家具工事） 手洗器、化粧鏡（機械設備）		○		○ （1ヶ所）
	中廊下	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	3,000					
	ロッカー室	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 抗菌性ビニル床シート(ｱ)2	見切：塩ビ廻縁突付 一部巾木：集成材 60×20 SOP 薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ EP	550	ビニールクロス貼（基材同等）　下地：ＰＢ(ｱ)12.5（不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,400	天井点検口（アルミ枠450角） スチールロッカー（家具工事：既製品）		○		
	更衣ブース	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 抗菌性ビニル床シート(ｱ)2	見切：塩ビ廻縁突付 一部巾木：集成材 60×20 SOP 薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ EP	550	ビニールクロス貼（基材同等）　下地：ＰＢ(ｱ)12.5（不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,400	洋服掛フック、コーナー小物棚（集成材(ｱ)25 SOP）、すのこ				
	スタッフ用トイレ	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 抗菌性ビニル床シート(ｱ)2	見切：塩ビ廻縁突付 一部巾木：集成材 60×20 SOP 薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ EP	550	ビニールクロス貼（基材同等）　下地：ＰＢ(ｱ)12.5（不燃）	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910	LGS19 (@227.5)	塩ビ廻縁	2,400	飾り棚（メラミンポストフォーム） 洋式便器、紙巻器、タオル掛（機械設備）		○		
	トイレ入り口	コンクリート(ｱ)150　モルタル金ゴテ　(ｱ)40	薄塗モルタル(ｱ)5 刷毛引き	550	杉板(ｱ)12（働き巾108）実継 目透かし 縦張り　下地：防水ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透かし張り（B=5、@910）　EP 下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	LGS25 (@303)	杉 36×42	2,700	床見切：真鍮目地 3×12				
	男子トイレ	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法） 汚垂石：花崗岩Ｂ級 本磨 (ｱ)20　600×600	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	150 550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） (吹抜)ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透し(B=5 @910) EP　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透かし張り（B=5、@910）　EP 下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	LGS25 (@303) 一部木製野縁	集成材 30×30 集成材 30×45 SOP	2,700 ～ 7,780	トイレブース、ライニング天板：メラミンポストフォーム、折りたたみ棚 天井点検口（アルミ枠450角） 洗面カウンター、小便器、洋式便器、和式便器、各種手摺、紙巻器、化粧鏡（機械設備）		○ ﾋﾞﾆﾀｲﾝ		
	女子トイレ	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	150 550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透かし張り（B=5、@910）　EP 下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	LGS25 (@303)	集成材 30×30 SOP	2,700	トイレブース、ライニング天板：メラミンポストフォーム、折りたたみ棚 洗面カウンター、洋式便器、和式便器、下流し、各種手摺、紙巻器、化粧鏡（機械設備）		○ ﾋﾞﾆﾀｲﾝ		
	多目的トイレ	コンクリート(ｱ)150　即時金ゴテ 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	塗床材壁用ローラー仕上 下地：薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	150 550	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛　下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透かし張り（B=5、@910）　EP 下地：ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）	LGS25 (@303)	集成材 30×30 SOP	2,400	ライニング天板：メラミンポストフォーム、折りたたみ棚、折りたたみベビーベッド 天井点検口（アルミ枠450角） 洗面器、洋式便器、各種手摺、紙巻器、化粧鏡（機械設備）		○ ﾋﾞﾆﾀｲﾝ		

凡例

SOP	合成樹脂調合ペイント塗	LGS	軽量鉄骨下地		シーリング(MS-2)　10×7
EP	合成樹脂エマルションペイント塗	PB	石膏ボード		シーリング(MS-2)　15×10
UC	ウレタン樹脂ワニス塗（２液）				シーリング(MS-2)　サイズ図示
OS	オイルステイン塗				
WPS	木材保護含浸塗料塗				

内装制限材料一覧表

ＰＢ(ｱ)12.5	ＮＭ－８６１９（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ吸収分解ﾎﾞｰﾄﾞ）	ケイ酸カルシウム板	ＮＭ－８５７８
ＰＢ(ｱ)9.5	ＱＭ－９８２８（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ吸収分解ﾎﾞｰﾄﾞ）	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6	ＮＭ－８５７９
防水ＰＢ(ｱ)9.5	ＱＭ－９８２６	ビニールクロス（ＰＢ下地）	ＮＭ－０３９１
防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＱＭ－９８２６	アルミ製浴室天井用パネル(ｱ)9.5	ＮＭ－０８９２
天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5	ＱＭ－０５２４（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ吸収分解ﾎﾞｰﾄﾞ）		

断熱・遮音仕様

天井裏	グラスウール断熱材(ｱ)100（24K）
外壁面	グラスウール断熱材(ｱ)100（24K）

令114条の小屋裏隔壁（準耐火構造、平成12年国土交通省告示第1358号）

木造下地間仕切の両側にＰＢ(ｱ)9.5+ＰＢ(ｱ)12.5張り

※小屋裏隔壁の壁下地は仕上表によらず、上記によること。

特記事項

「カラーＧＬ鋼板」「カラーガルバリウム鋼板」は、「塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金メッキ鋼板」を示す。

「薄塗モルタル」は、既調合品とする。

「ビニールクロス貼」出隅箇所は、樹脂製クロス補強下地（25ｍｍ型）を施工する。

「ケイ酸カルシウム板」「化粧ケイ酸カルシウム板」ジョイナー掛　箇所は、タテヨコ目地の他、出隅、入隅、下端においても、それぞれの部位用のジョイナーを使用する。

洗面器取付箇所は、壁下地をコンパネ(ｱ)24とする。

内装材料は、全て（下地材、接着剤等を含む）ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量性能区分Ｆ☆☆☆または非使用品とする。

変更

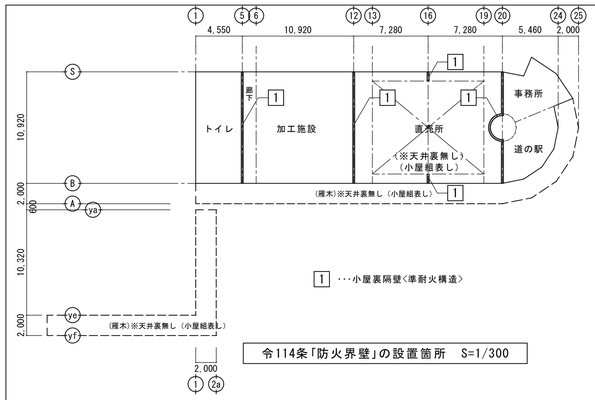
三　条　市

三条市建築設計協同組合
新潟県知事　登録番号（二）第3037号
電 話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口　宏

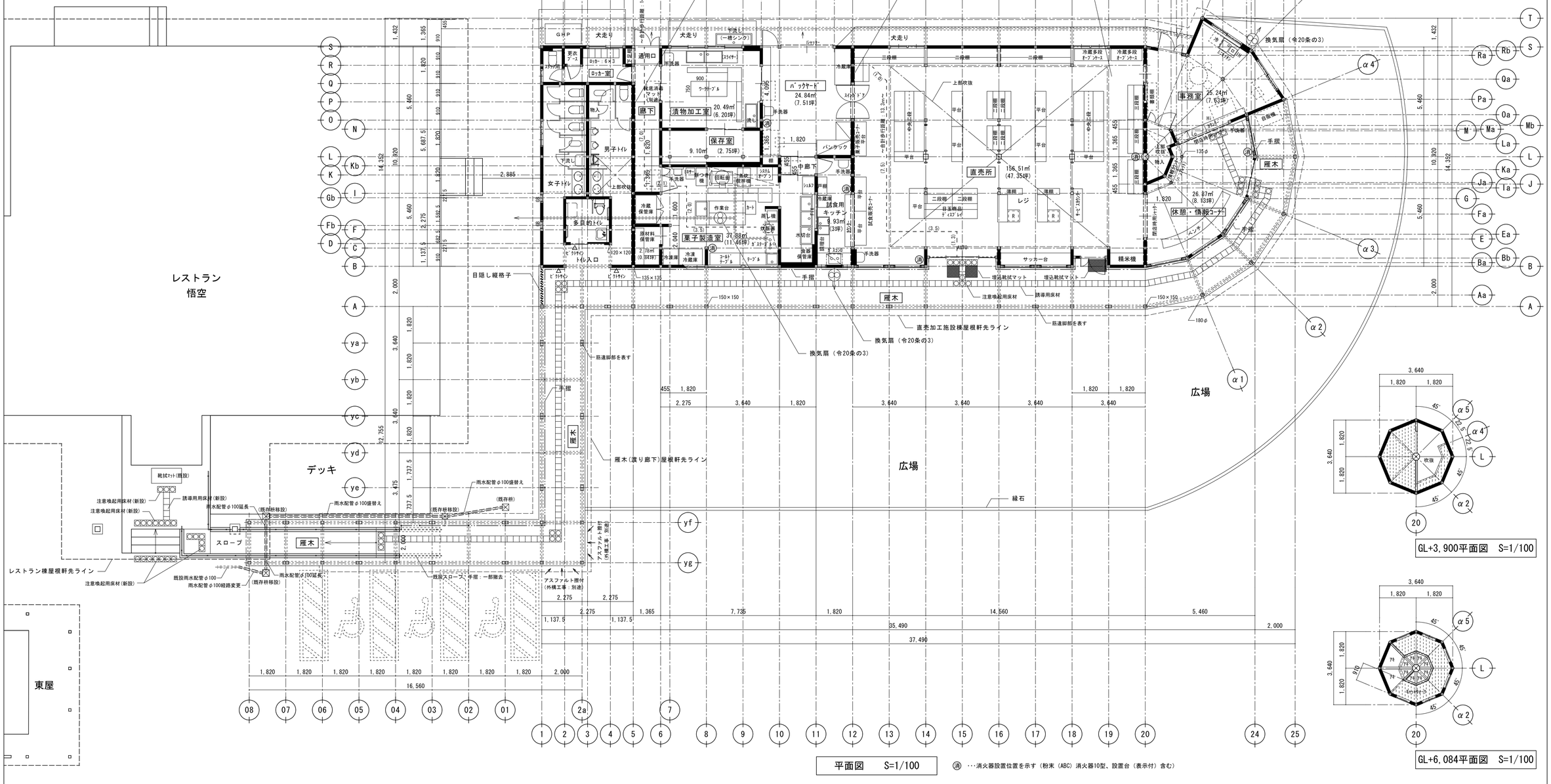
設計者 一級建築士 第177868号 長野暉明 長野

審査	意匠	構造	機械	電気
樋口	山田	金子		

工事名称	下田地域交流拠点施設建設建築本体工事
年月日	2012.6.30
図面番号	AA-9／38
図面名称	直売加工所建設　外部・内部　仕上表
縮　尺	NO SCALE
意 電 構 機	



令114条「防火界壁」の設置箇所　S=1/300



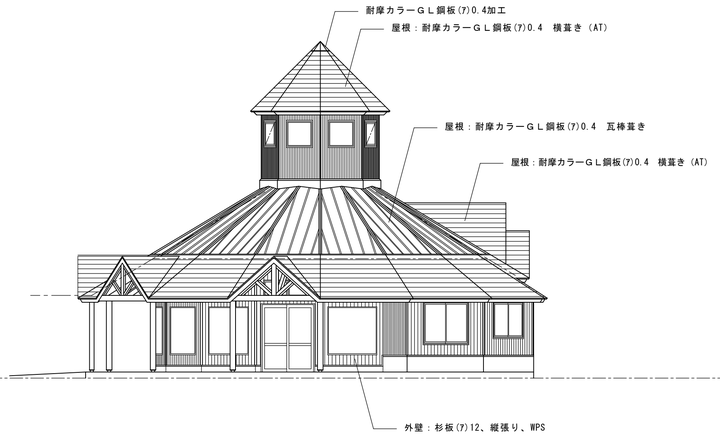
平面図　S=1/100

㊎ ･･･消火器設置位置を示す（粉末（ABC）消火器10型、設置台（表示付）含む）

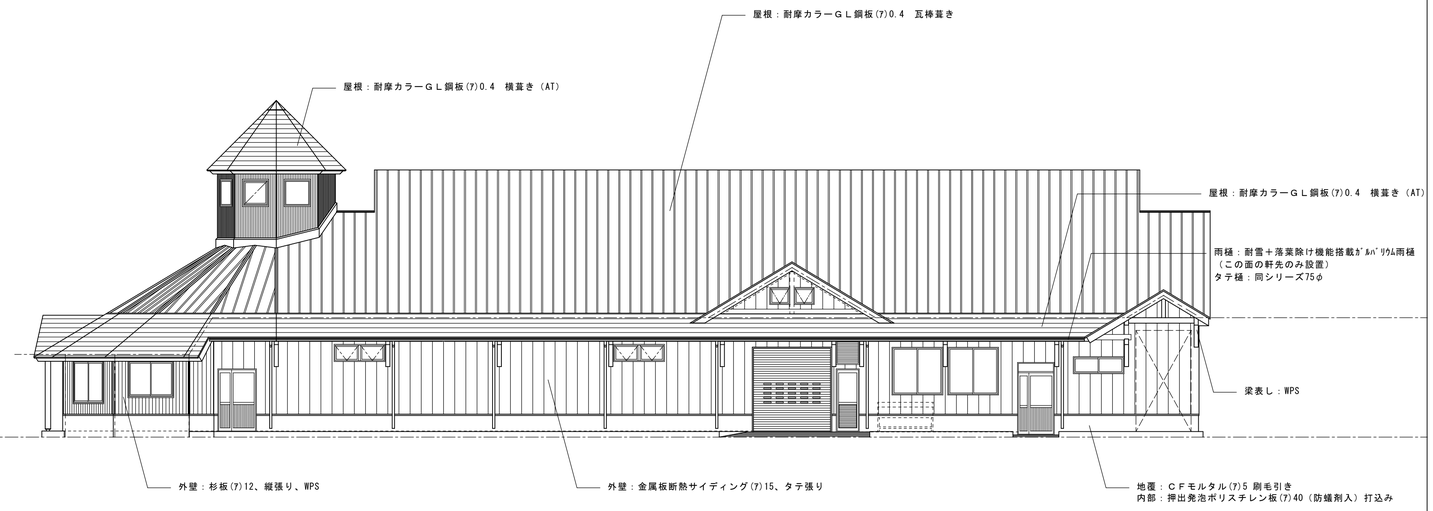
GL+3,900平面図　S=1/100

GL+6,084平面図　S=1/100

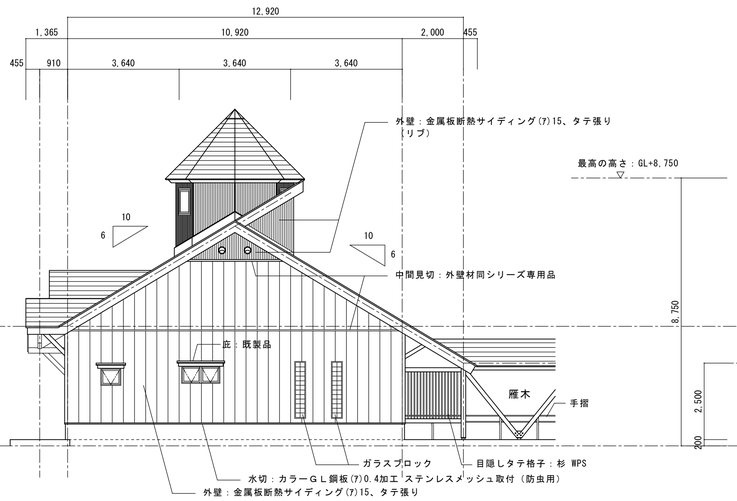
変更	三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口　宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野暁明					工事名称	下田地域交流拠点施設建設建築本体工事	年月日	図面番号
			樋口	審査	山田	意匠	金子	図面名称	直売加工所建設　平面図	2012. 6. 30	AA-10／38
			長野	サブ責		構造		縮尺	S=1/100	意 電	
						機械				構 機	
						電気					



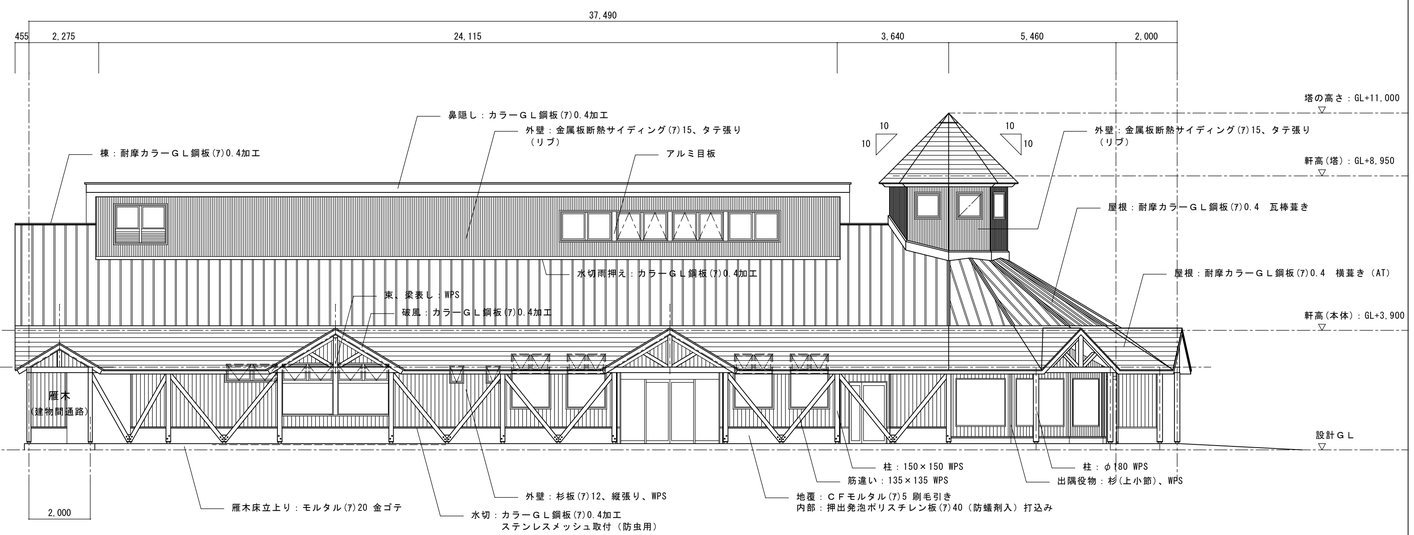
北東立面図　S=1/100



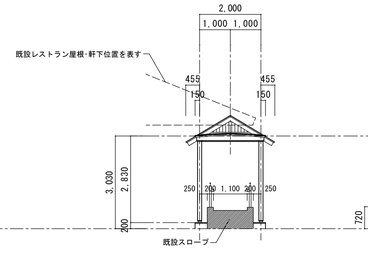
北西立面図　S=1/100



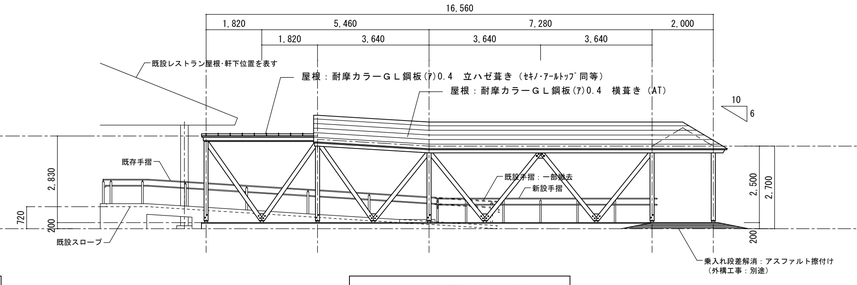
南西立面図　S=1/100



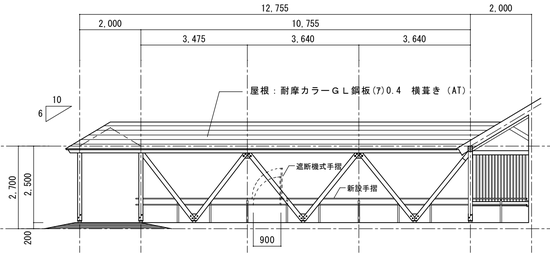
南東立面図　S=1/100



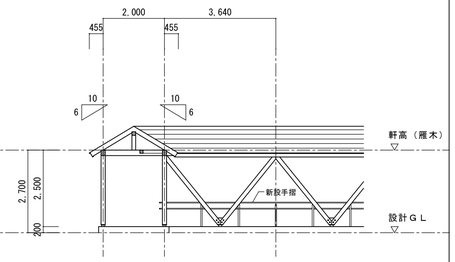
南西立面図　S=1/100



南東立面図　S=1/100

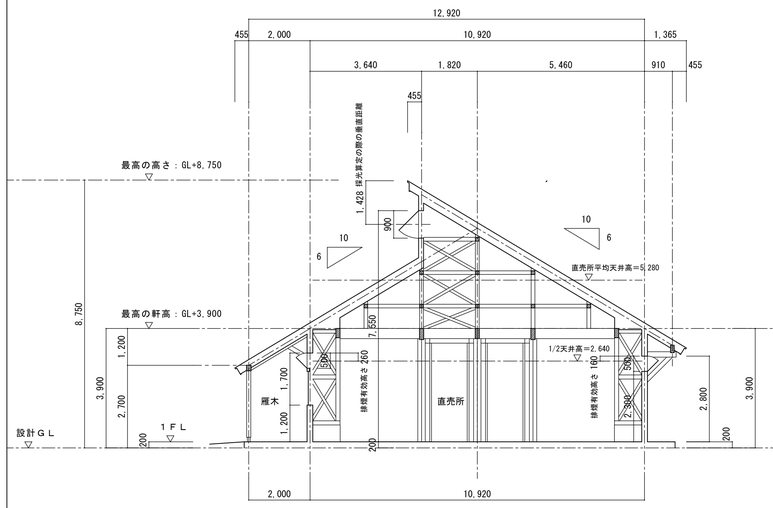


北東立面図　S=1/100

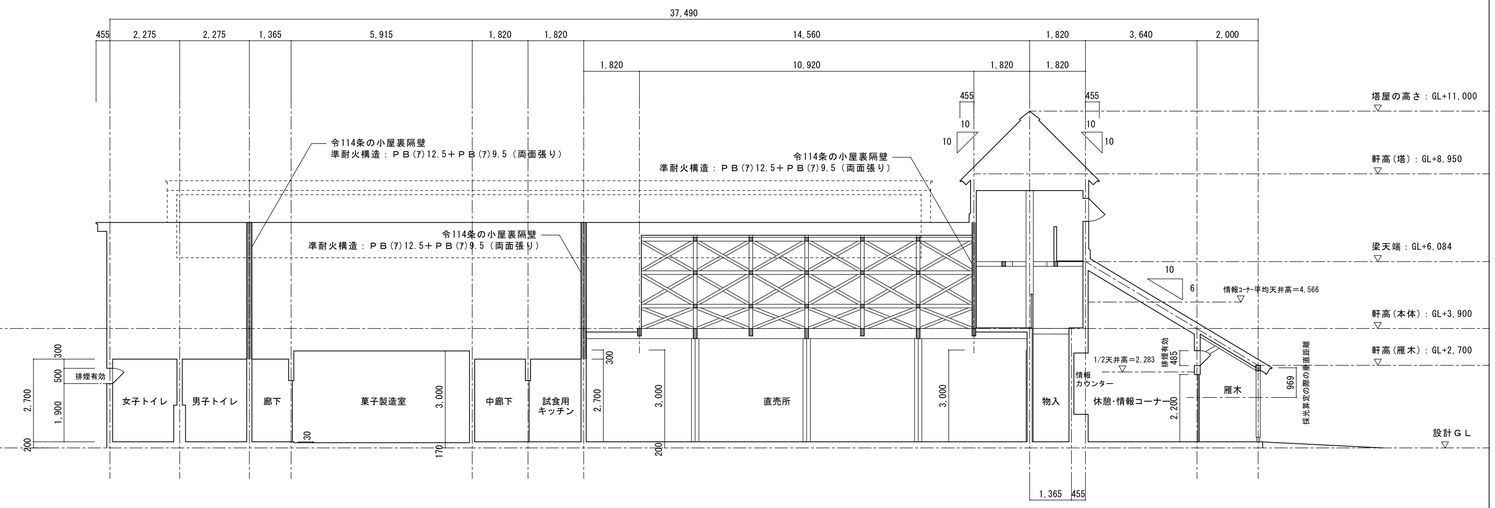


北西立面図(断面図)　S=1/100

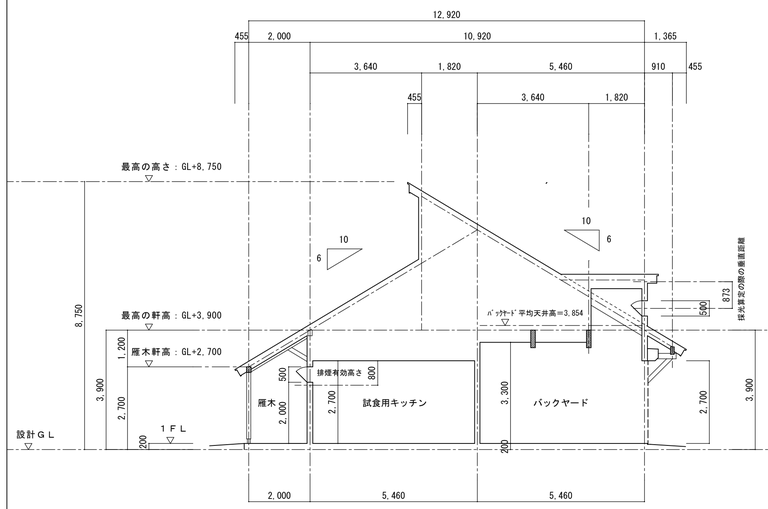
変更		三　条　市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明 長野 樋口 / 審査 山田 / サブ職 金子 / 意匠 / 構造 / 機械 / 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　立面図	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/100	図面番号 AA-11／38 意 / 電 / 構 / 機



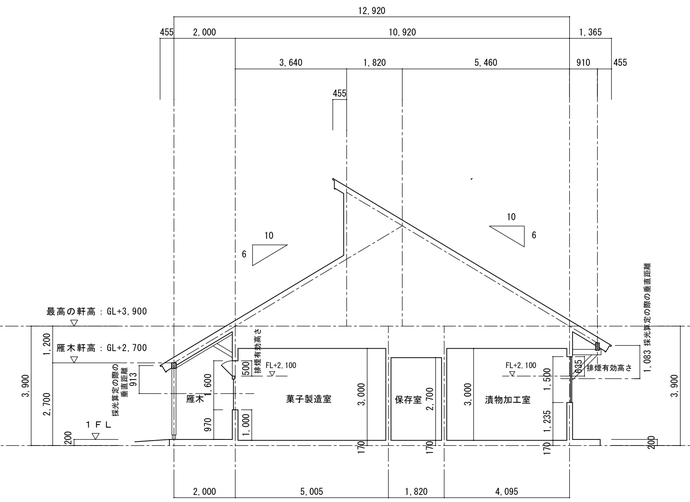
断面図　S=1/100



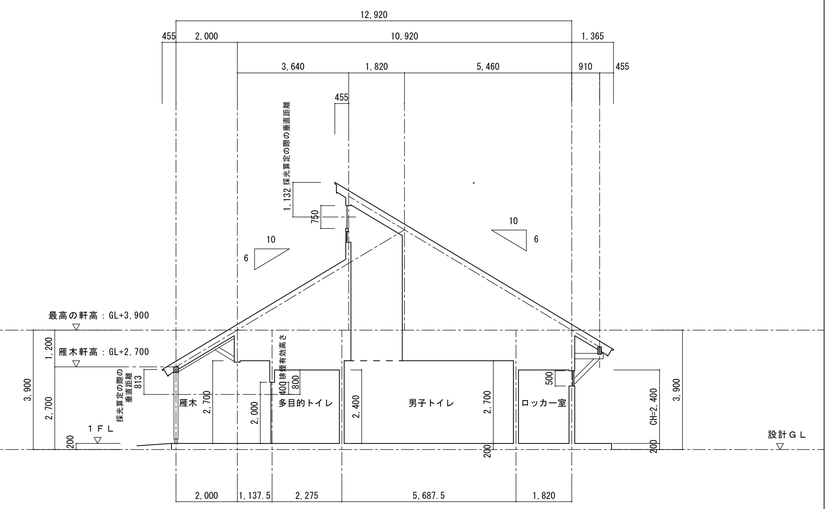
断面図　S=1/100



断面図　S=1/100



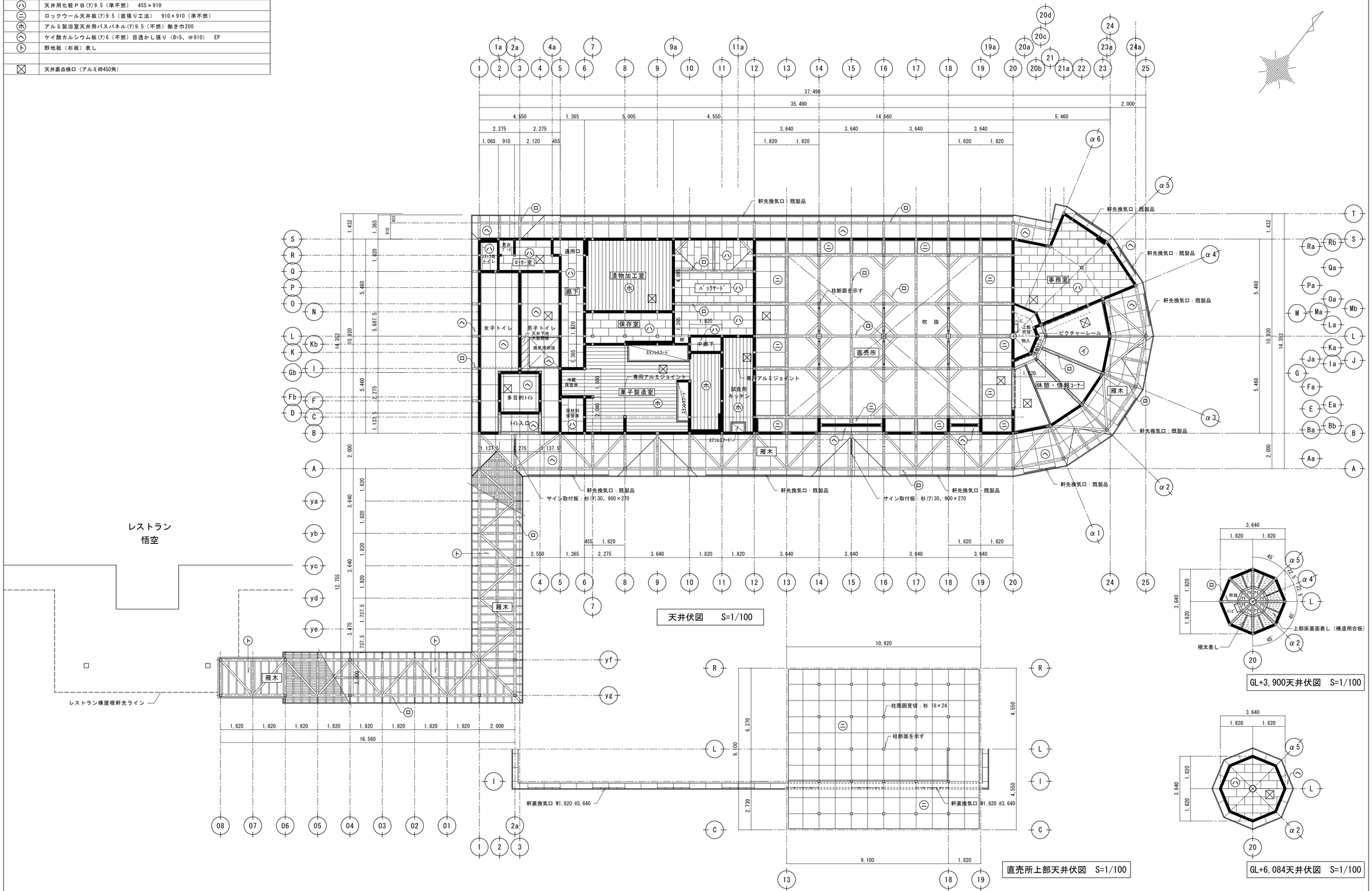
断面図　S=1/100



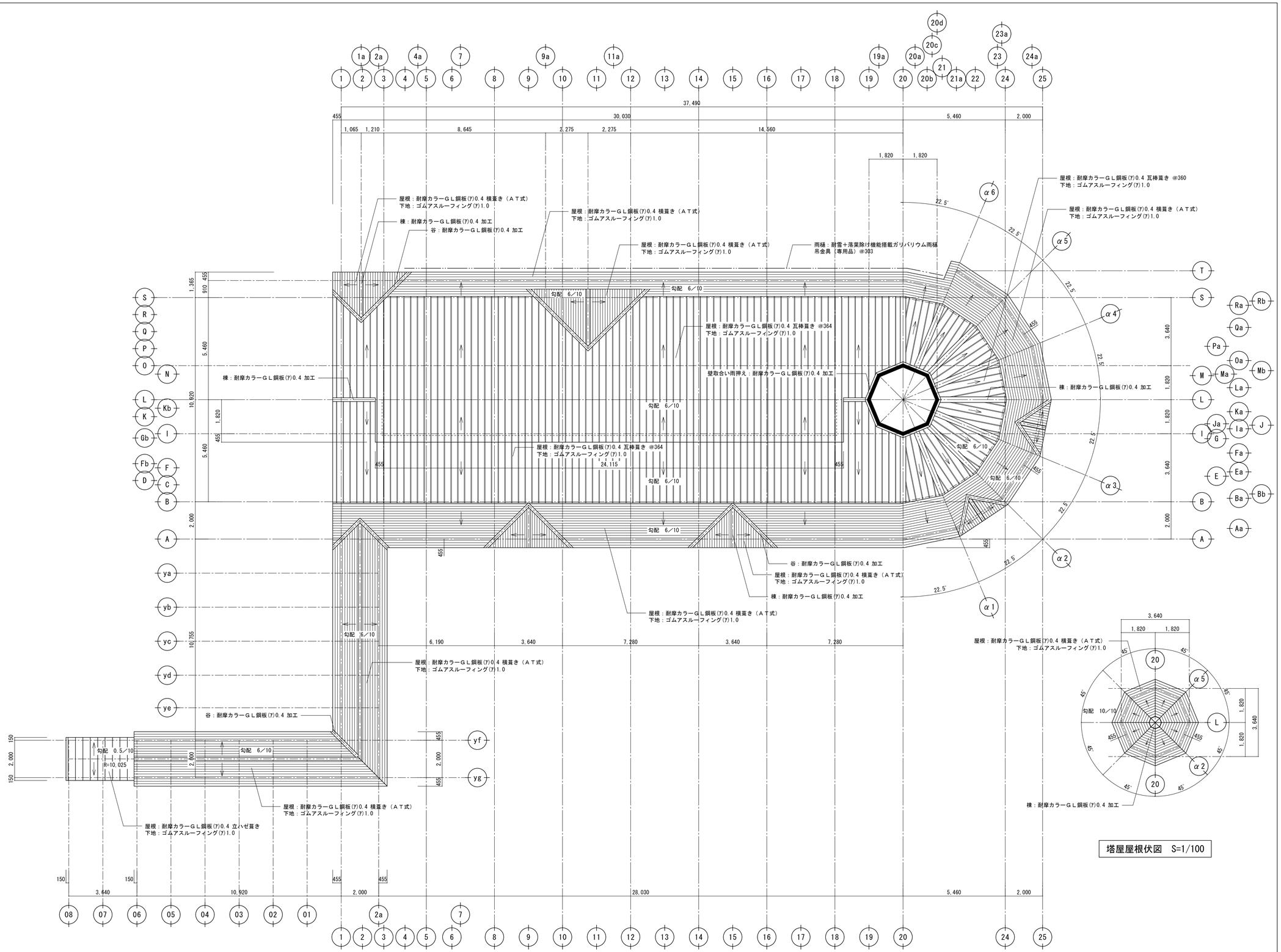
断面図　S=1/100

変更		三　条　市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口　宏	設計者 一級建築士　第177868号　長野暁明　長野 樋口	審査	山田	サブ 金子	意匠	構造	機械	電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　断面図	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/100	図面番号 AA-12／38 意 電 構 機

符　号	仕　上
㋑	ビニールクロス貼
㋺	構造材木部表し　（外部のみ WPS）
㋩	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃）　455×910
㋥	ロックウール天井板(ｱ)9.5（直張り工法）　910×910（準不燃）
㋭	アルミ製浴室天井用パスパネル(ｱ)9.5（不燃）働き巾200
㋬	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透かし張り（B=5、@910）　EP
㋣	野地板（杉板）表し
☒	天井裏点検口（アルミ枠450角）



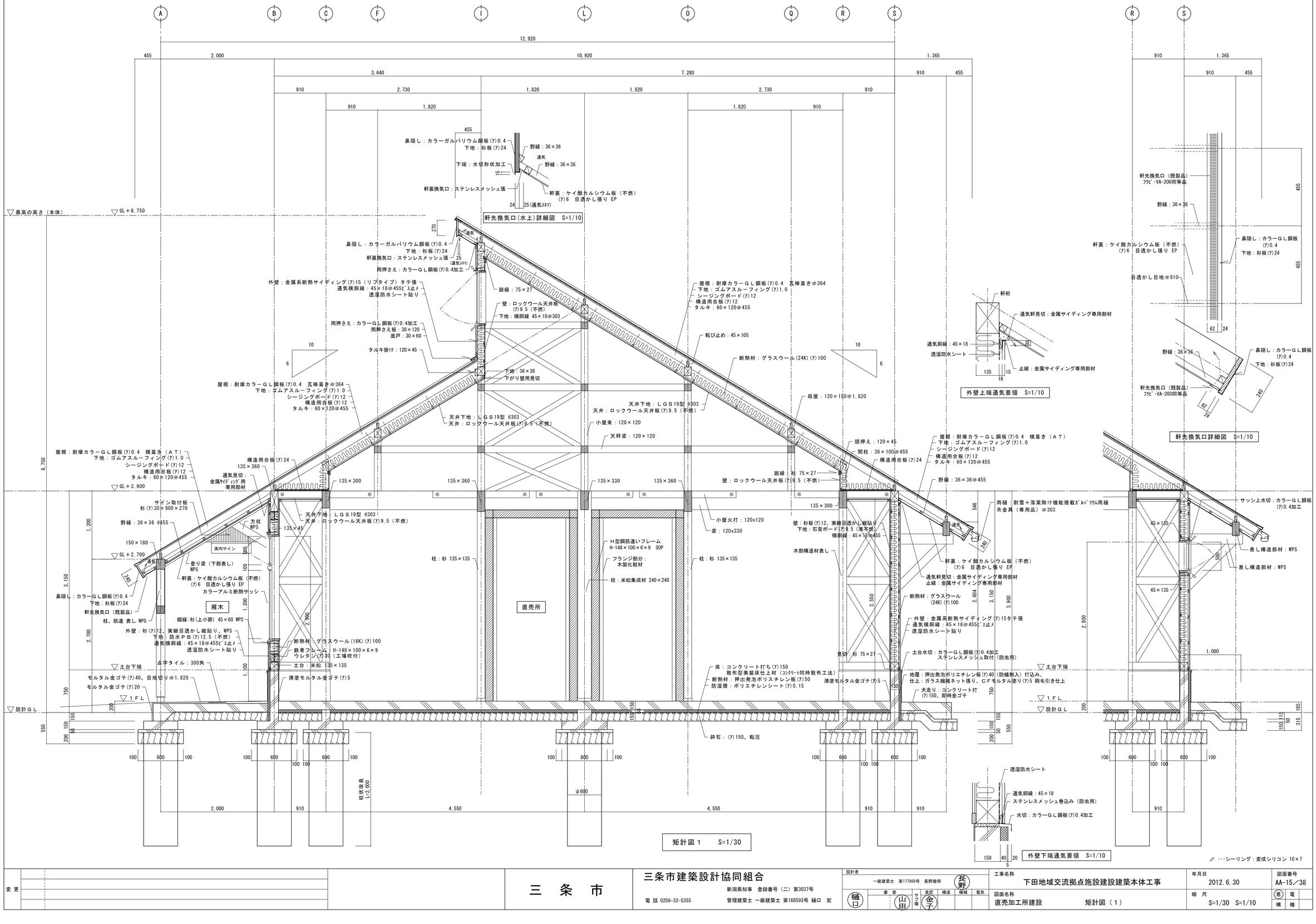
変更		三　条　市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口　宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明 長野 樋口 / 審査 山田 / サブ圏 金子 / 意匠 / 構造 / 機械 / 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　天井伏図	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/100	図面番号 AA-13／38 意 / 電 / 構 / 機



屋根伏図　S=1/100

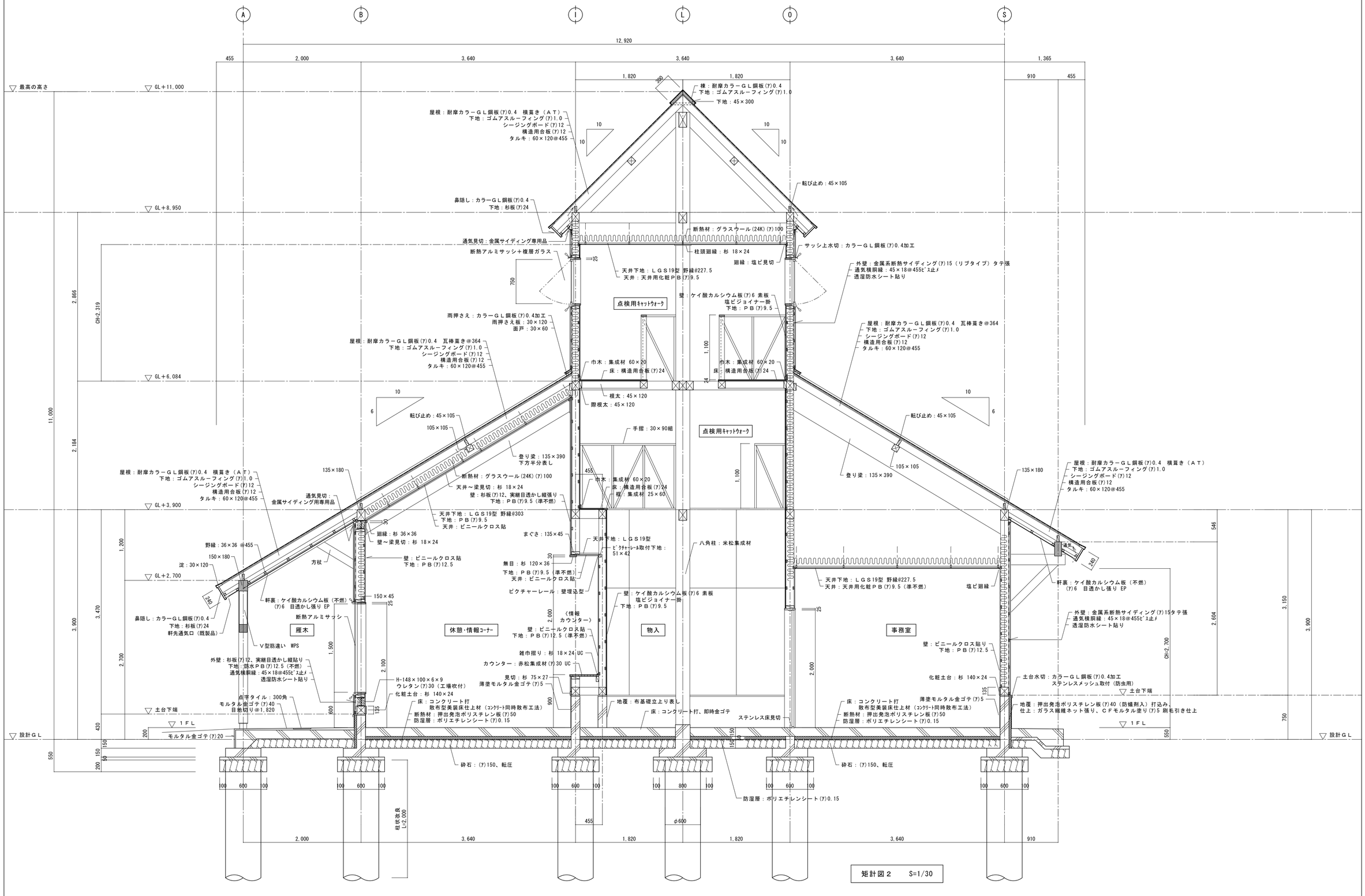
塔屋屋根伏図　S=1/100

変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口　宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明 長野 審査 樋口 山田 サブ欄 金子 意匠 構造 機械 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　屋根伏図	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/100	図面番号 AA-14／38 意 電 構 機



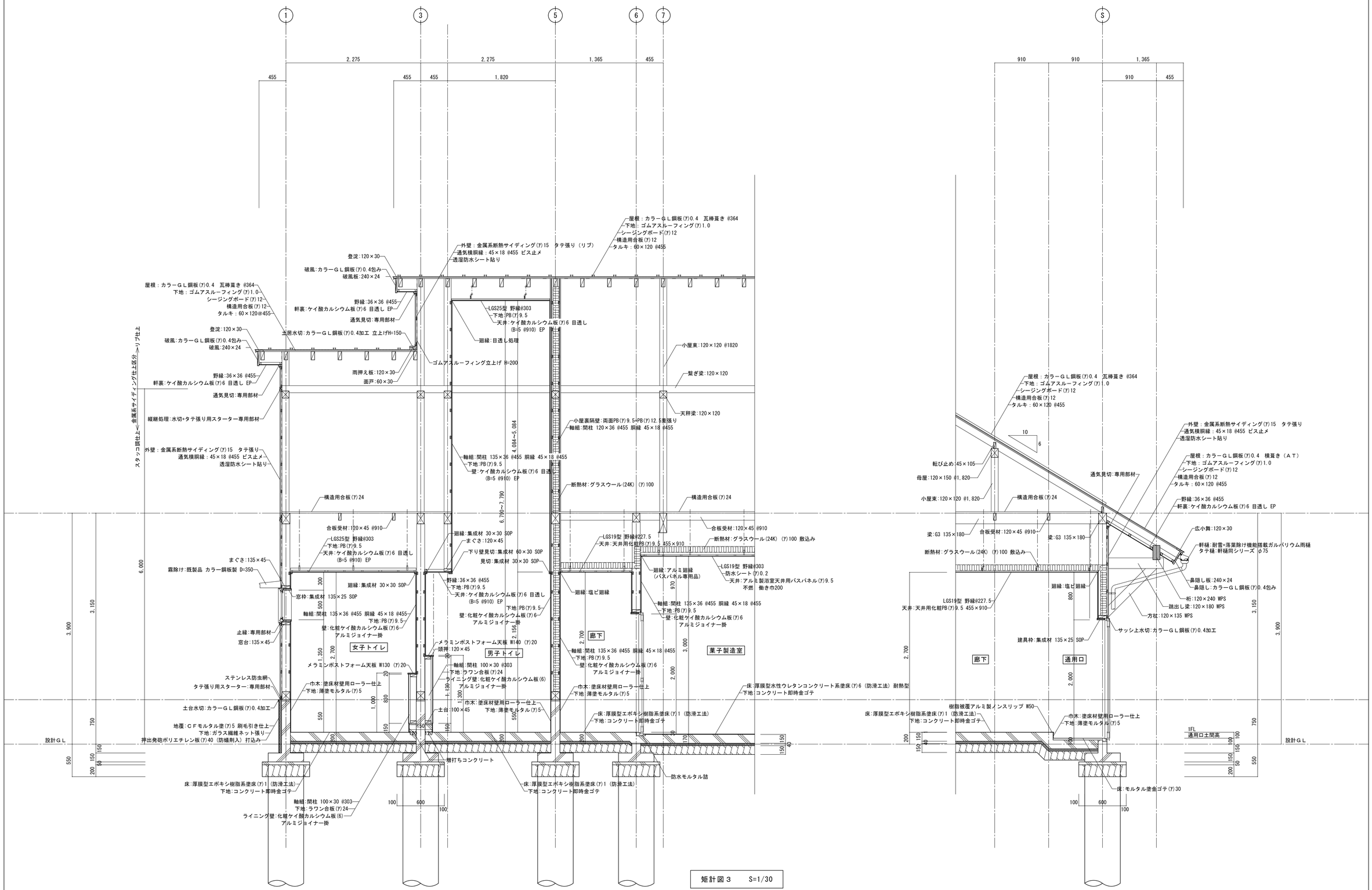
矩計図１　S=1/30

変更			三　条　市	三条市建築設計協同組合	設計者	工事名称	年月日	図面番号
				新潟県知事　登録番号（二）第3037号	一級建築士　第177868号　長野雄明　長野	下田地域交流拠点施設建設建築本体工事	2012.6.30	AA-15／38
				電話 0256-32-5355	審査　樋口　山田　サブ棟　金子　意匠　構造　機械　電気	図面名称	縮尺	意 電
				管理建築士　一級建築士　第168593号　樋口　宏		直売加工所建設　矩計図（１）	S=1/30　S=1/10	構 機



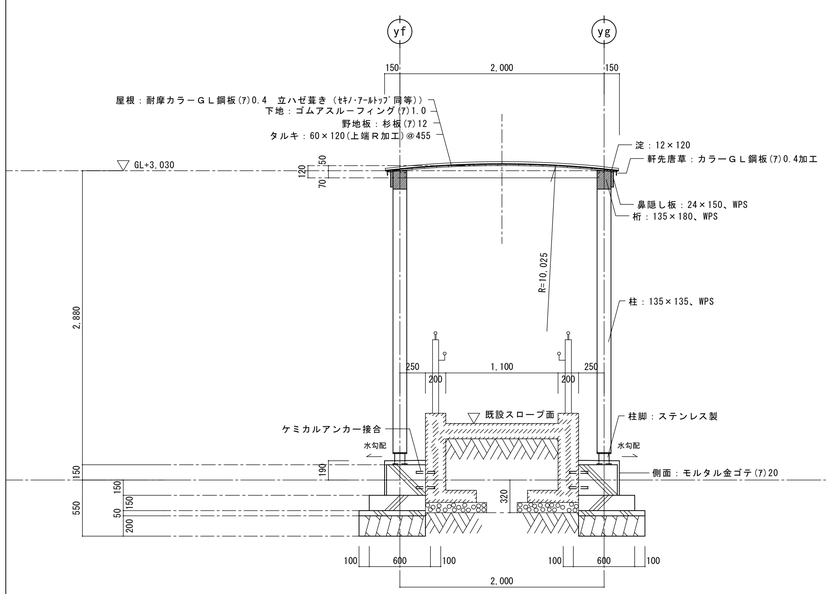
矩計図２　S=1/30

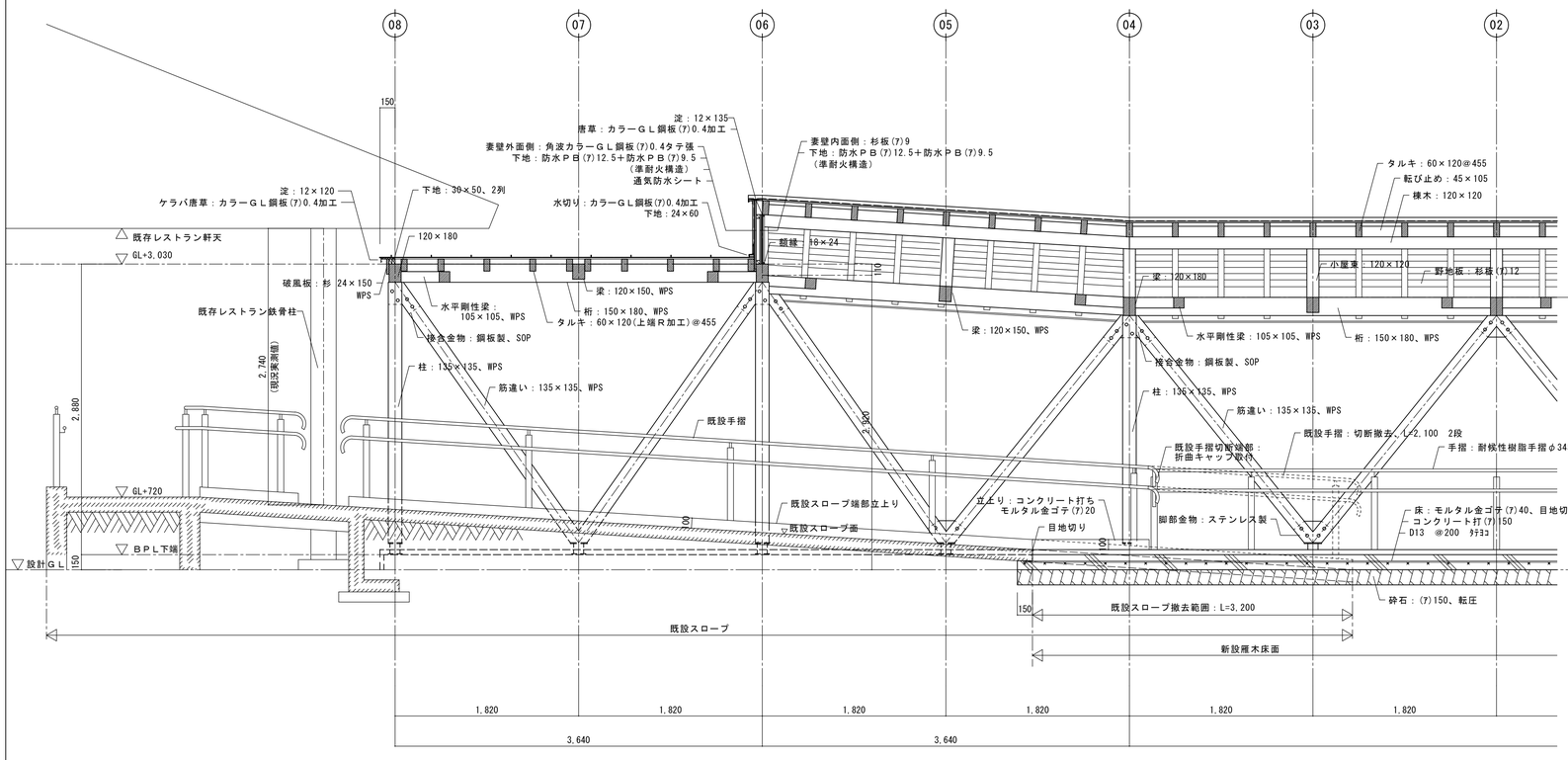
変更	三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野暁明 長野 審査 樋口 山田 サブ 金子 意匠 構造 機械 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　矩計図（２）	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/30	図面番号 AA-16／38 意 電 構 機

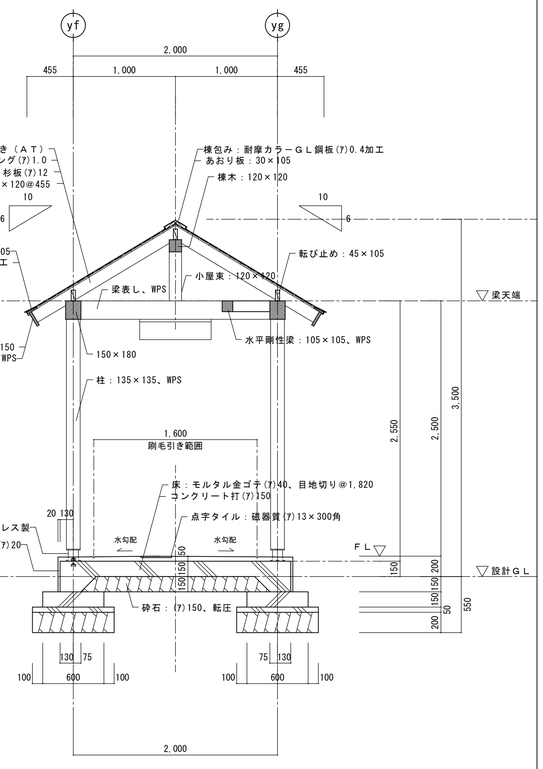


矩計図３　S=1/30

変更	三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野暁明 審査：樋口　サブ責：山田　意匠：伊藤　構造　機械　電気	工事名称：下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称：直売加工所建設　矩計図（３）	年月日：2012.6.30 縮尺：S=1/30	図面番号：AA-17／38 意匠　電気 構造　機械



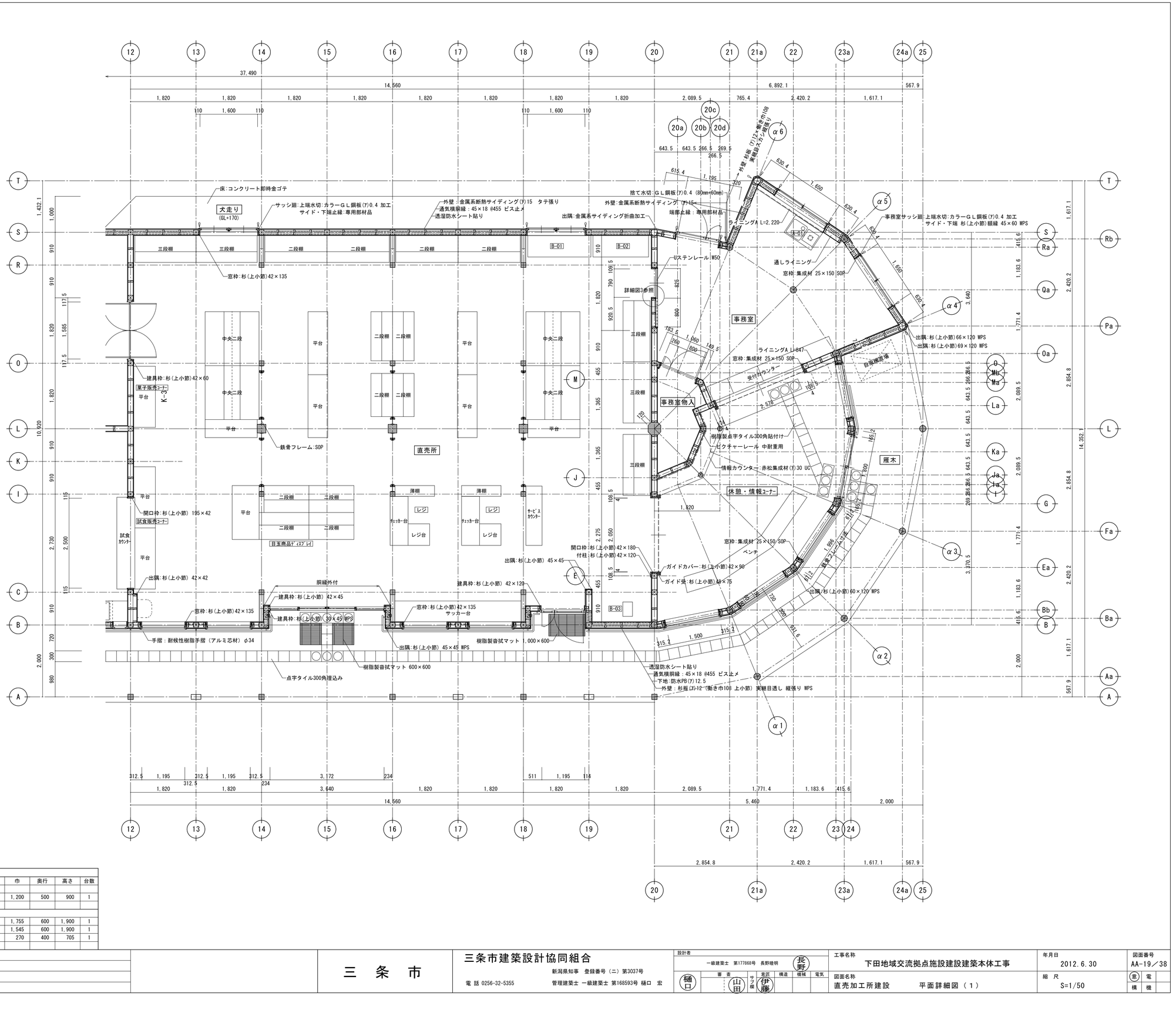




矩計図３　S=1/30

変更	三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355　管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野暁明 長野 樋口 / 審査 / 山田 / サブ欄 / 意匠 金子 / 構造 / 設備 / 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　矩計図（４）	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/30	図面番号 AA-18／38 意 電 構 機

仕上		
直売所		
床	散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法）	
巾木	薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	
	杉(上小節) 60×24	
壁	杉板(ｱ)12 (働き巾108 上小節) 実継目透し タテ張り	
	ロックウール天井板(ｱ)9.5（準不燃）（直張り工法)910×910	
	構造材表し、鉄骨部：SOP	
天井	ロックウール天井板(ｱ)9.5（直張り工法）910×910（準不燃）	
	折曲部見切：集成材 30×15 SOP	
	小屋組表し	
廻縁	杉(上小節) 36×36	
	塩ビ廻縁	
休憩･情報コーナー		
床	散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法）	
	樹脂製点字タイル（注意喚起用、誘導用） 300角 貼り付け	
巾木	薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	
	杉(上小節) 135×21	
	杉(上小節) 60×21	
壁	ビニールクロス貼（基材同等）	
	杉板(ｱ)12 (働き巾108 上小節) 実継目透し タテ張り	
天井	ビニールクロス貼（基材同等）	
	一部梁表し 見切:杉(上小節) 18×24	
廻縁	杉(上小節) 36×36	
事務室		
床	散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法）	
巾木	薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ	
	杉(上小節) 135×21	
	杉(上小節) 60×21	
壁	ビニールクロス貼（基材同等）	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
事務室物入		
床	モルタル金ゴテ (ｱ)30	
巾木	コンクリート打放し	
壁	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃） 素板 塩ビジョイナー掛	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
特記		
軸組	図中寸法無き軸組:間柱 135×36 @455 胴縁 45×18 @455	
	図中寸法150:間柱 150×36 @455 胴縁 45×18 @455	
	図中寸法120:間柱 120×36 @455 胴縁 45×18 @455	
	通しライニング:間柱 100×30 @455 胴縁 45×18 @455	
床高	図中表記無き部屋の床高は、GL+200 とする	



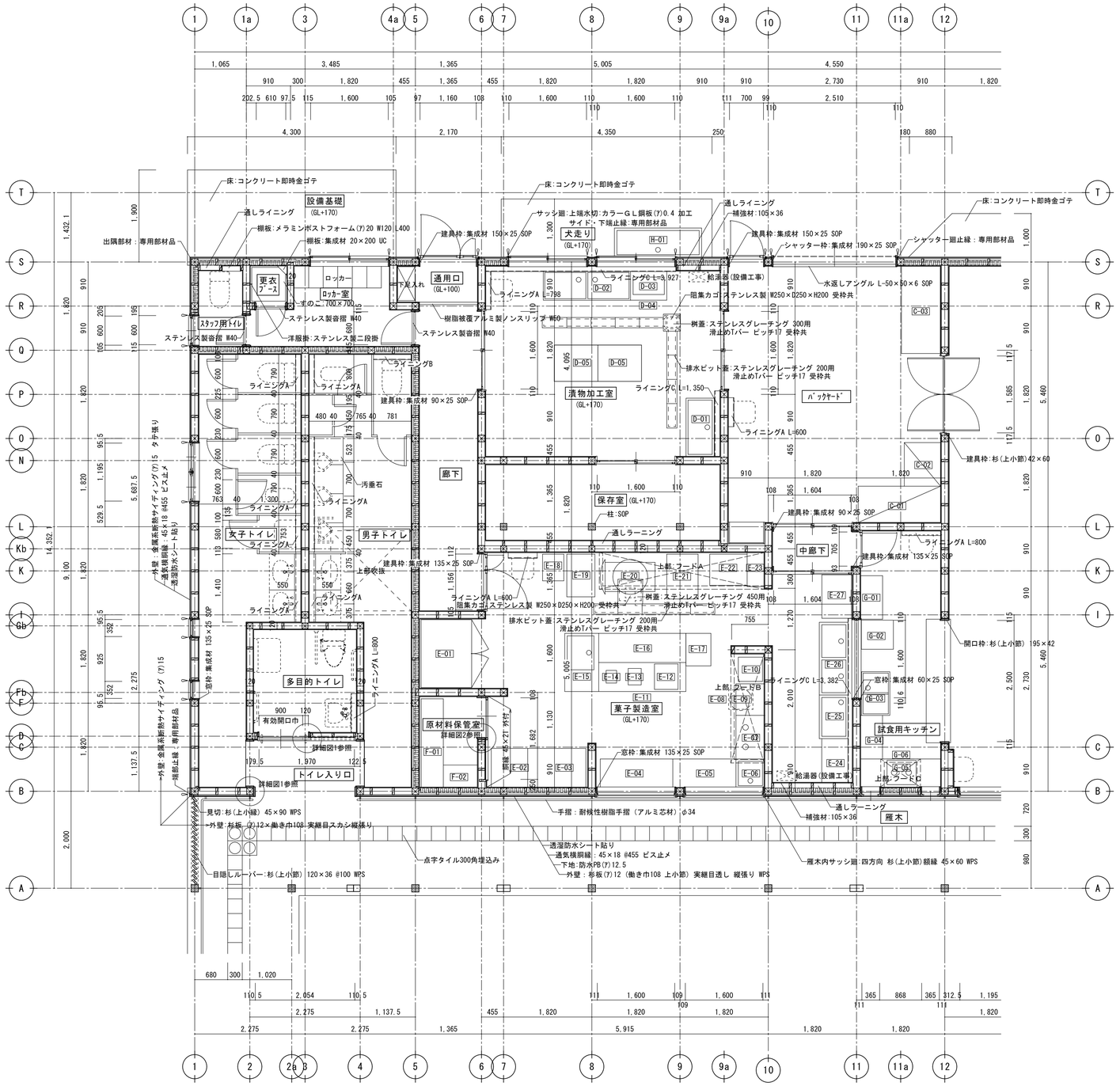
器具表							
番号	器具名	規格・参考品番	備 考	巾	奥行	高さ	台数
事務室							
A-01	ミニキッチン	ハーフタイプ 1200	IHヒーター(100V)	1,200	500	900	1
直売所							
B-01	冷蔵多段オープンケース	MCU-65GKPOR-F		1,755	600	1,900	1
B-02	冷蔵多段オープンケース	MCU-55GKPOR-F		1,545	600	1,900	1
B-03	精米機	PX-15A		270	400	705	1

変更		三条市	三条市建築設計協同組合	設計者	工事名称	年月日	図面番号
			新潟県知事 登録番号（ニ）第3037号	一級建築士 第177868号 長野暁明	下田地域交流拠点施設建設建築本体工事	2012.6.30	AA-19／38
			電話 0256-32-5355	管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	図面名称 直売加工所建設 平面詳細図（１）	縮尺 S=1/50	意匠 電機

審査：樋口 山田 サブ 伊藤 是正 構造 機械 電気

仕上

スタッフ用トイレ		
床	抗菌性ビニル床シート(ｱ)2	
巾木	薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ EP H=550 一部木製 60×20 SOP	
壁	下端見切：塩ビ廻縁	
	ビニールクロス貼（基材同等）	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
更衣ブース		
床	抗菌性ビニル床シート(ｱ)2	
巾木	薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ EP H=550 一部木製 60×20 SOP	
壁	下端見切：塩ビ廻縁	
	ビニールクロス貼（基材同等）	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
ロッカー室		
床	抗菌性ビニル床シート(ｱ)2	
巾木	薄塗モルタル(ｱ)5 金ゴテ EP H=550 一部木製 60×20 SOP	
壁	下端見切：塩ビ廻縁	
	ビニールクロス貼（基材同等）	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
通用口		
床	モルタル金ゴテ(ｱ)30	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=650	
框	アルミ製ビニル被覆ノンスリップ	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
廊下		
床	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=550	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
漬物加工室・試食キッチン		
床	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=580	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
	一部：ステンレス板張り(ｱ)0.4 下端:アルミジョイナー	
天井	アルミ製浴室天井用バスパネル(ｱ)9.5（不燃）働き幅200	
廻縁	バスパネルアルミ専用廻縁	
保存室		
床	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=580	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
菓子製造室		
床	厚膜型水性ウレタンコンクリート系塗床材(ｱ)6（防滑工法）耐熱型	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=580	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
	一部：ステンレス板張り(ｱ)0.4 下端:アルミジョイナー	
天井	アルミ製浴室天井用バスパネル(ｱ)9.5（不燃）働き幅200	
廻縁	バスパネルアルミ専用廻縁	
原材料保管庫・中廊下		
床	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=550	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
バックヤード		
床	散布型美装床仕上材（コンクリート同時散布工法）	
巾木	コンクリート打放しH=550	
壁	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃） 素板 塩ビジョイナー掛	
天井	天井用化粧ＰＢ(ｱ)9.5（準不燃） 455×910	
廻縁	塩ビ廻縁	
トイレ入り口		
床	モルタル金ゴテ(ｱ)30	
巾木	モルタル(ｱ)20刷毛引き H=550	
	戸袋部分:薄付モルタル(ｱ)5刷毛引き H=550	
壁	杉小幅板(ｱ)9×W90 タテ張り WPS	
天井	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透し(B=5 ＠910) EP	
廻縁	杉 36×36 WPS	
男子トイレ		
床	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	
	汚垂石:花こう岩 本磨 20×600×600 並級B	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=550	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
	吹抜:ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透し(B=5 ＠910) EP	
天井	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透し(B=5 ＠910) EP	
廻縁	集成材 30×30 SOP	
	吹抜部分:目透し処理	
女子トイレ・多目的トイレ		
床	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材(ｱ)1（防滑工法）	
巾木	塗床材壁用ローラー仕上 H=550	
壁	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）アルミジョイナー掛	
天井	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6（不燃）目透し(B=5 ＠910) EP	
廻縁	集成材 30×30 SOP	
特記		
軸組	図中寸法無き軸組:間柱 135×36 @455 胴縁 45×18 @455	
	図中寸法120:間柱 120×36 @455 胴縁 45×18 @455	
	通しライニング:間柱 100×30 @455 胴縁 45×18 @455	
床高	図中表記無き部屋の床高は、GL+200 とする	



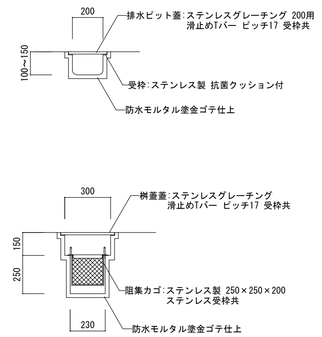
器具表

番号	器具名	規格・参考品番	備 考	巾	奥行	高さ	台数
バックヤード							
C-01	バンラック	平板、分割、着脱式	4段	1,700	750	1,800	1
C-02	バンラック	P-97-4	4段	900	750	1,800	1
C-03	冷蔵庫	HR-180Z		1,800	800	1,890	1
漬物加工室							
D-01	一槽シンク		SUS304	1,200	600	800	1
D-02	二槽シンク		SUS304	1,800	600	800	1
D-03	フードスラーサー	VC-4		360	645	465	1
D-04	置台		SUS304	750	600	800	1
D-05	ワークテーブル	TA-97	SUS304	900	750	800	2
菓子製造室							
E-01	冷蔵保管庫	HRA-28GD1	3～16℃	1,400	1,043	1,885	1
E-02	冷凍庫（既存品）	HF-75X		750	800	1,890	1
E-03	冷凍冷蔵庫	HRF-120Z	一室冷凍	1,200	800	1,890	1
E-04	コールドテーブル	RT-120SNF-ML	ピラーレス	1,200	600	800	1
E-05	テーブル	TA-136		1,300	600	800	1
E-06	一槽シンク	S1-66		600	600	800	1
E-07	ガステーブル	XYS-960T		900	600	800	1
E-08	炊飯テーブル	TA-66S	スライドユニット付	650	600	800	1
E-09	炊飯器	RR-50S2	低輻射タイプ	543	506	436	1
E-10	蒸し器	MUS-055C	セイロリフター付	505	580	775	1
E-11	作業台	TC-186	戸棚付	1,800	600	800	1
E-12	真空包装機	JANNB042	シール寸法410mm	490	525	440	1
E-13	卓上ミキサー	KSM5	ボジャケット付	270	340	415	1
E-14	ロボクープ	RM-4200F	3.0L スライス盤 φ10円盤付	215	260	432	1
E-15	一槽台付シンク	S1T-127(特)	シンク寸法750×590×250以上	1,200	700	800	1
E-16	作業台	TB-186	引出4ヶ付	1,800	600	800	1
E-17	トレイラックカート	SA-36A		515	670	1,275	1
E-18	ミキサー	SK-20		610	635	1,035	1
E-19	餅つき機	ANT-B型	落下式	610	920	1,545	1
E-20	ガス回転釜	K1G1-10 アルミ	自動着火式	1,240	920	780	1
E-21	煮炊攪拌機	AG-1	銅鍋、転倒式	910	760	1,400	1
E-22	システムオーブン	MBCO-4C+MBD0-4+MBK-S4	サイド断熱版付	770	645	1,760	1
E-23	脇台	TA-37(特)		350	700	800	1
E-24	食器消毒保管庫	MCSK-10-e		900	550	1,900	1
E-25	水切台	TE-96		900	600	800	1
E-26	二槽シンク	S2-156		1,500	600	800	1
E-27	シェルフ	A2436NC-74P-4	4段	908	609	1,895	1
原材料保管室							
F-01	シェルフ	A1872NC-74P-4	4段	1,823	457	1,895	1
F-02	シェルフ	平板仕様(特)	4段	670	455	1,895	1
試食キッチン							
G-01	食器戸棚	DS-94		900	450	1,800	1
G-02	冷凍冷蔵庫	NR-94	冷蔵室94L、冷凍室44L	480	584	1,119	1
			隔室温度計付				
G-03	二槽シンク	S2-96		900	600	800	1
G-04	調理台	TA-94		900	450	800	1
G-05	テーブルコンロ	RT-650-2FTS	60cmタイプ	596	476	180	1
G-06	コンロテーブル			1,650	600	600-800	1
外部							
H-01	一槽シンク	SUS304		1,800	600	800	1

ガス消費量

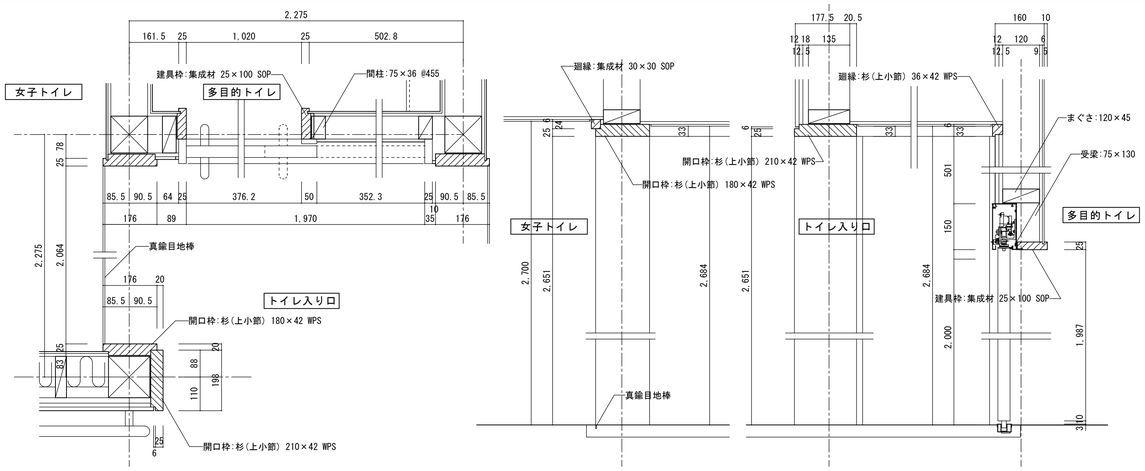
番号	器具名	規格・参考品番	備 考	ガス消費量	台数
E-07	ガステーブル	XYS-960T		28,000 Kcal	1
E-09	炊飯器	RR-50S2	低輻射タイプ	9,800 Kcal	1
E-10	蒸し器	MUS-055C	セイロリフター付	13,000 Kcal	1
E-20	ガス回転釜	K1G1-10 アルミ	自動着火式	16,000 Kcal	1
E-21	煮炊攪拌機	AG-1	銅鍋、転倒式	17,500 Kcal	1
G-05	テーブルコンロ	RT-650-2FTS	60cmタイプ	5,380 Kcal	1
			合計	89,680 Kcal	6

排水ピット・集水桝詳細図　S=1/20

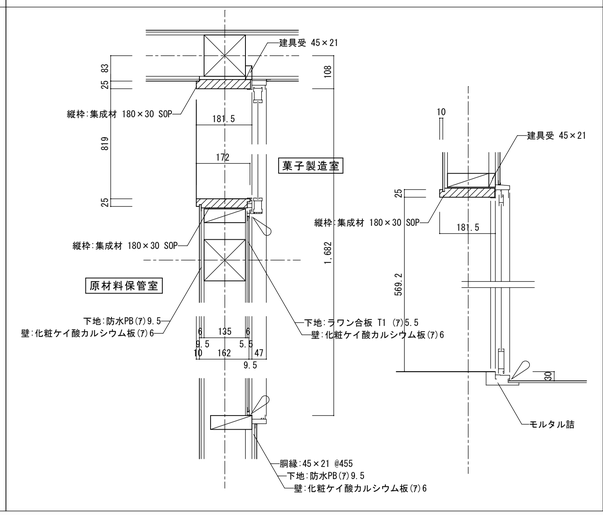


| 変更 | | | | | | |

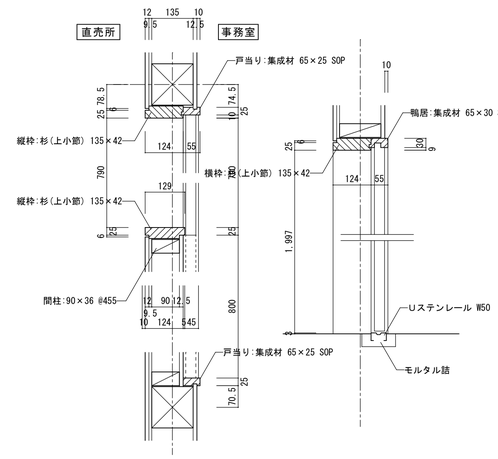
1. トイレ入り口詳細図　S=1/10



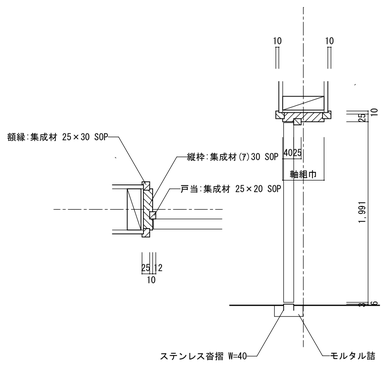
2. 原材料保管室片引き戸詳細図　S=1/10



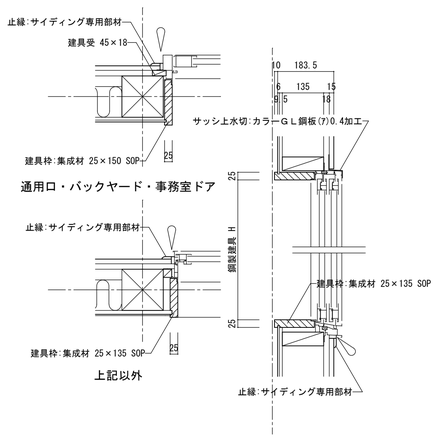
3. 事務室片引き戸詳細図　S=1/10



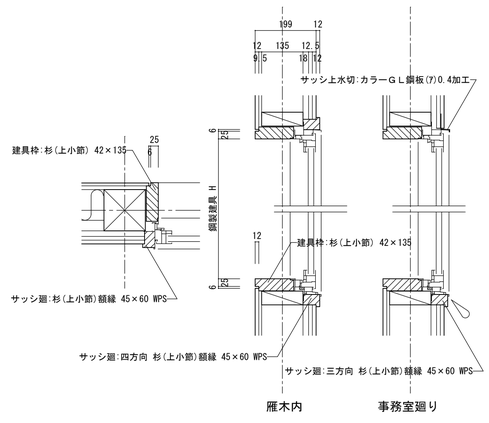
内部木製開き戸標準図　S=1/10



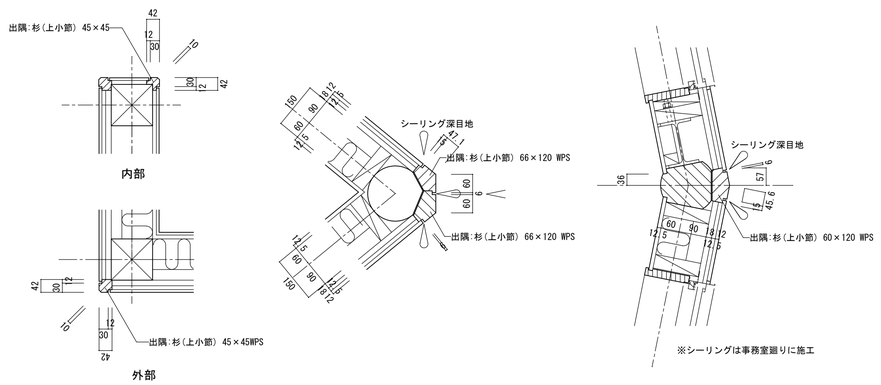
外部金属系サイディング・内部杉板張り以外 開口部標準図　S=1/10



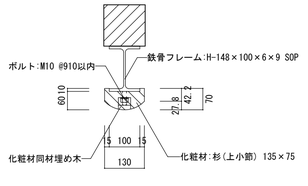
外部・内部杉板張り開口部標準図　S=1/10



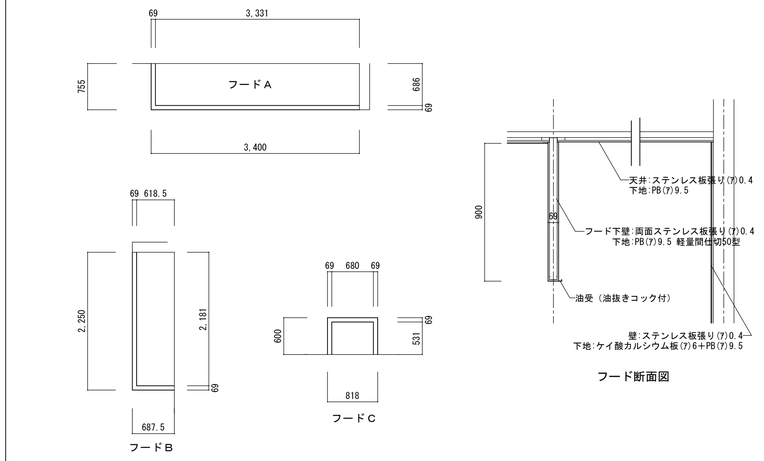
杉板張り 出隅詳細図　S=1/10



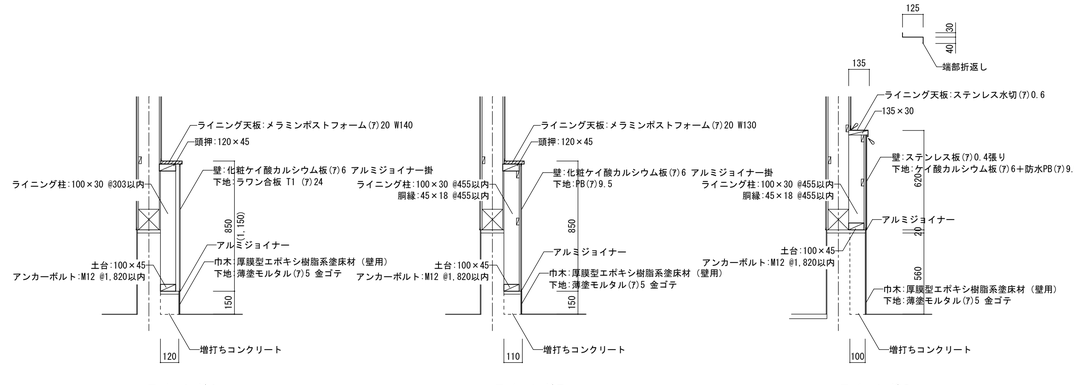
鉄鋼津フランジ化粧材詳細図　S=1/10



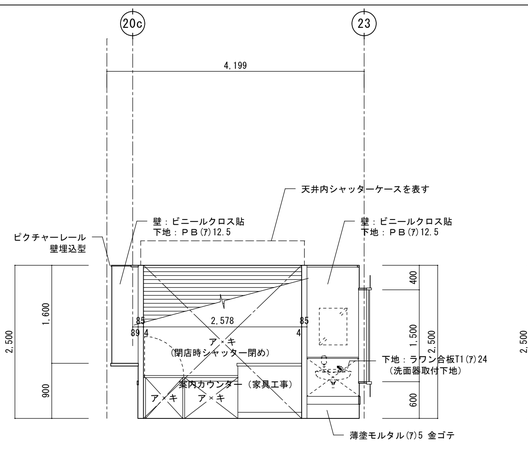
フード詳細図　S=1/50 S=1/20



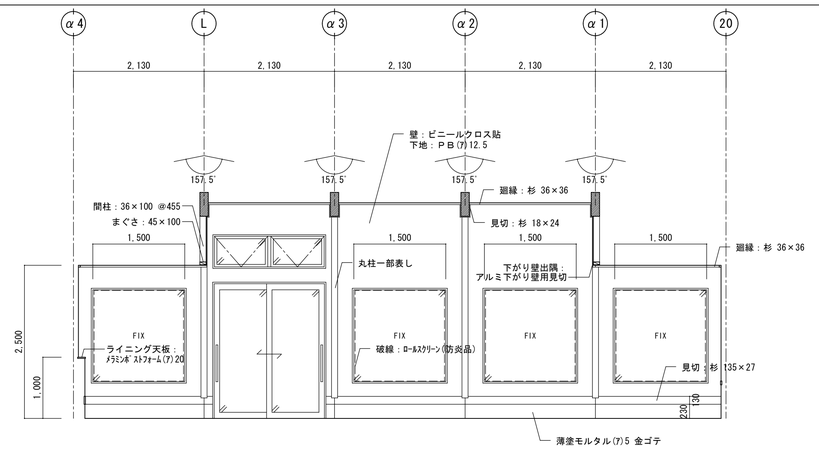
ライニング詳細図　S=1/20



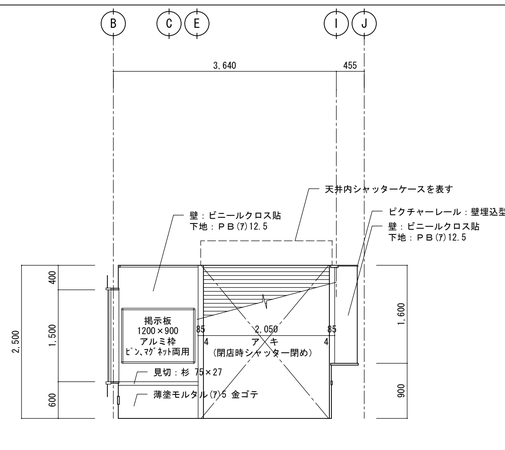
変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事　登録番号（二）第3037号 管理建築士　一級建築士　第168593号　樋口　宏 電話 0256-32-5355	設計者 一級建築士　第177868号　長野稔明 審査　樋口　山田　サブ座　伊藤　意匠　長野　構造　機械　電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設　各部詳細図	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/10　S=1/20	図面番号 AA-21／38 意　電 構　機



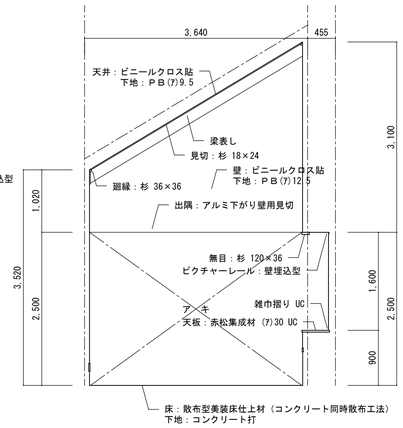
A



B～C

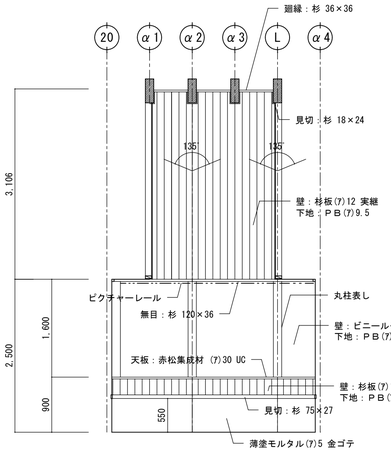


D

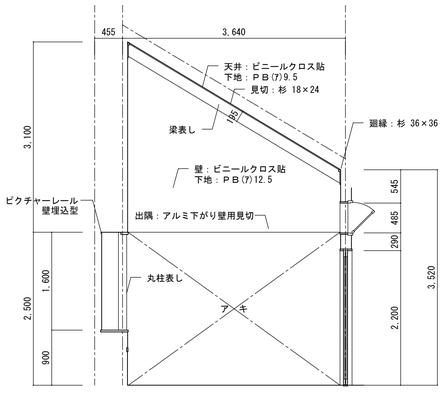


α１通り断面

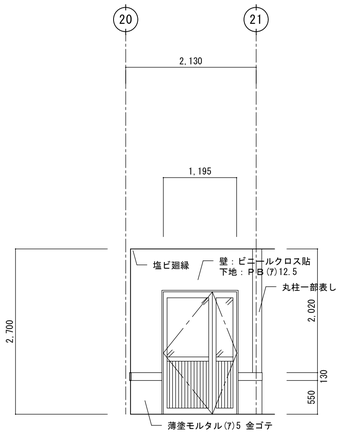
休憩・情報コーナー



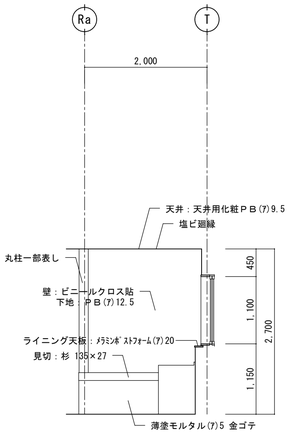
D～A



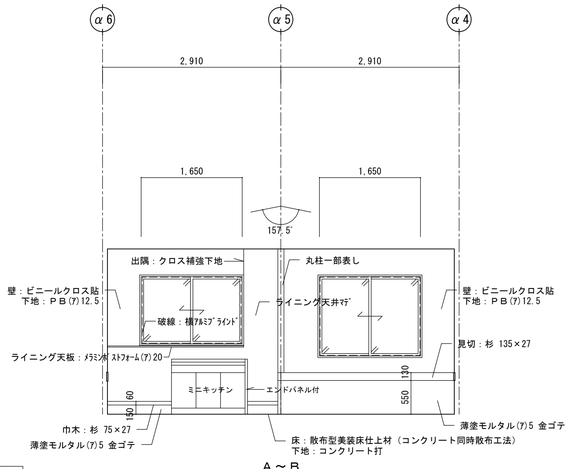
L通り断面



A



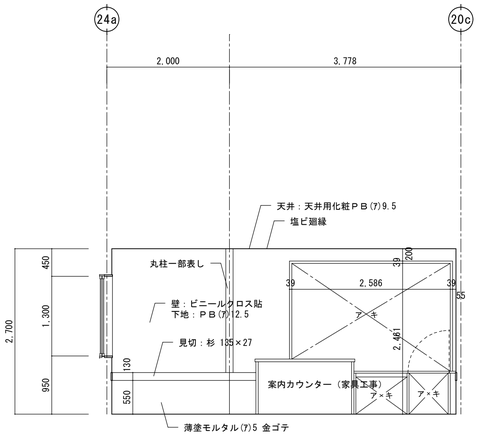
D



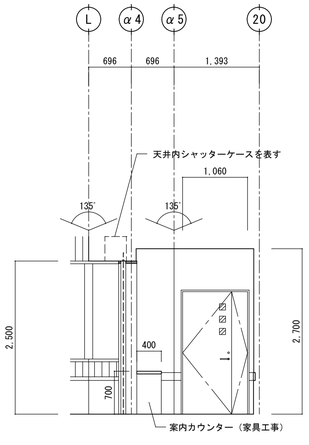
A～B

ミニキッチン仕様：Ｉ型1,200（ワークユニットのみ）、エンドパネル付
天板：ステンレスカウンター
コンロ：100V・ＩＨヒーター（１口、グリル無し）
扉：メラミン標準品

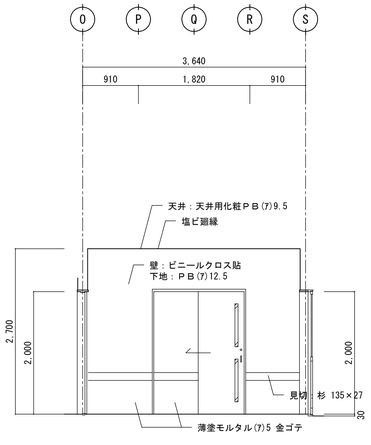
事務室



B～C



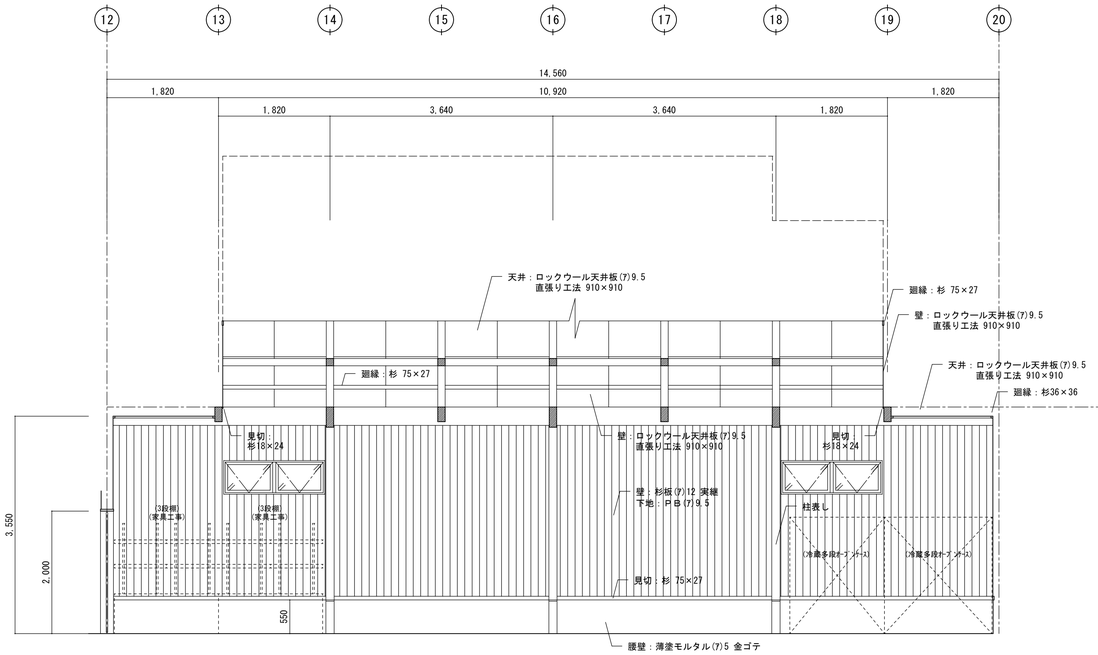
C

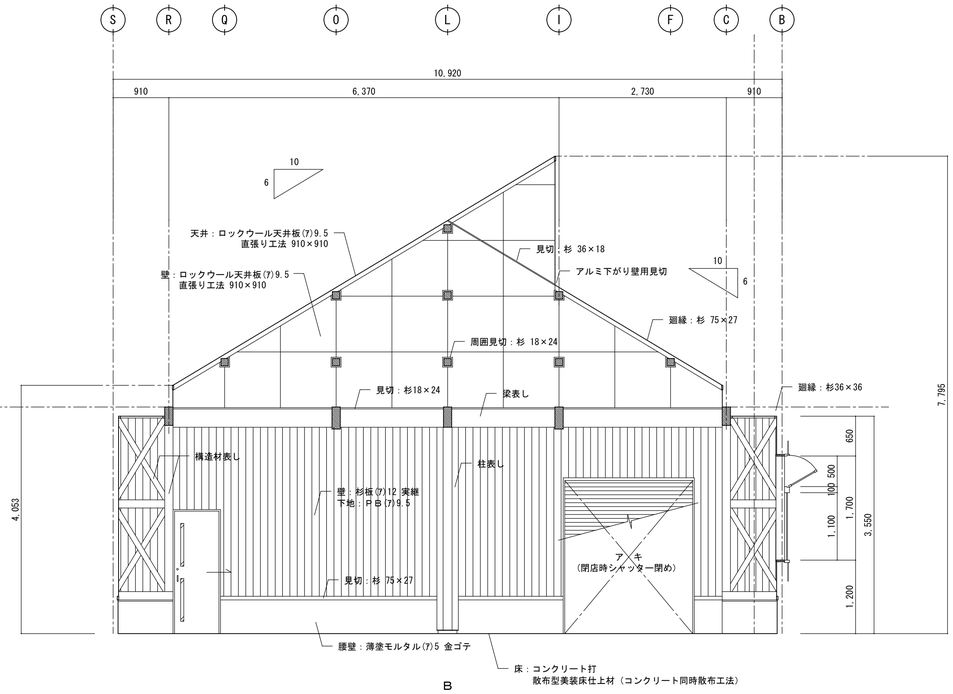


D

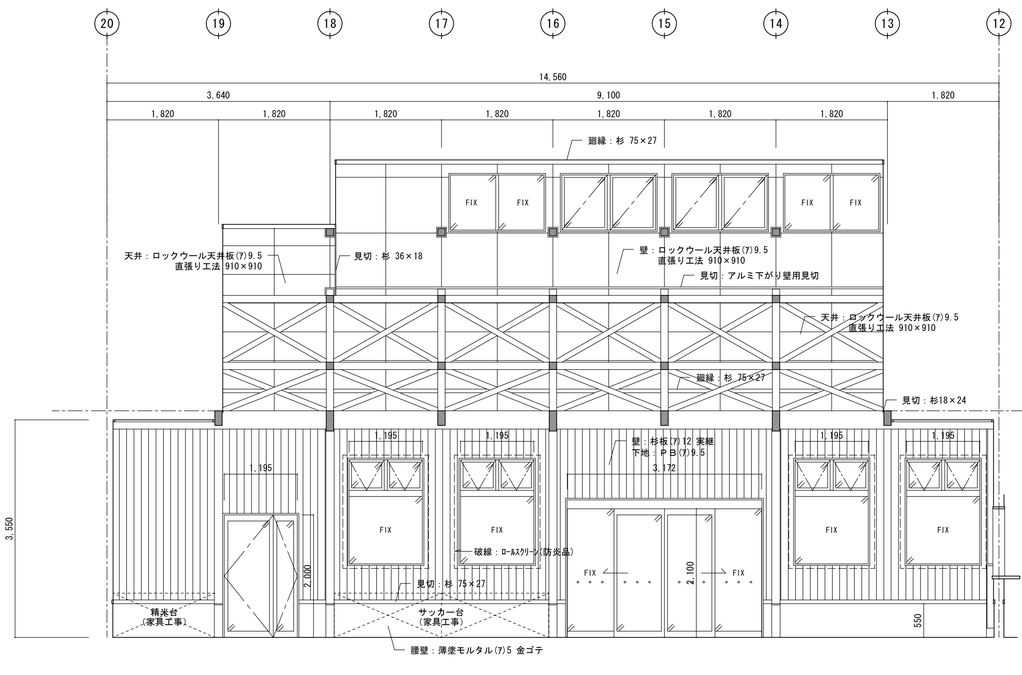
事務室

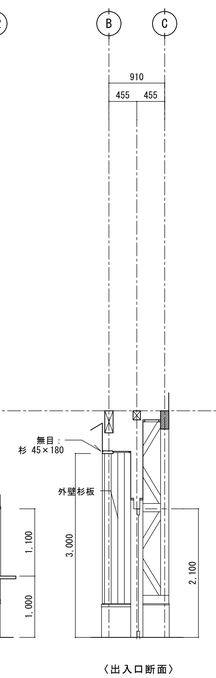
変更		三条市建築設計協同組合		設計者				工事名称		年月日	図面番号
		新潟県知事　登録番号（二）第3037号		一級建築士　第177868号　長野暁明				下田地域交流拠点施設建設建築本体工事		2012.6.30	AA-22／38
		電話 0256-32-5355	管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口　宏	樋口	審査	山田	サブ欄	意匠	金子	縮尺	意 電
		三条市			構造		機械	電気	長野	S=1/50	構 機
								図面名称	直売加工所建設　　展開図（１）		



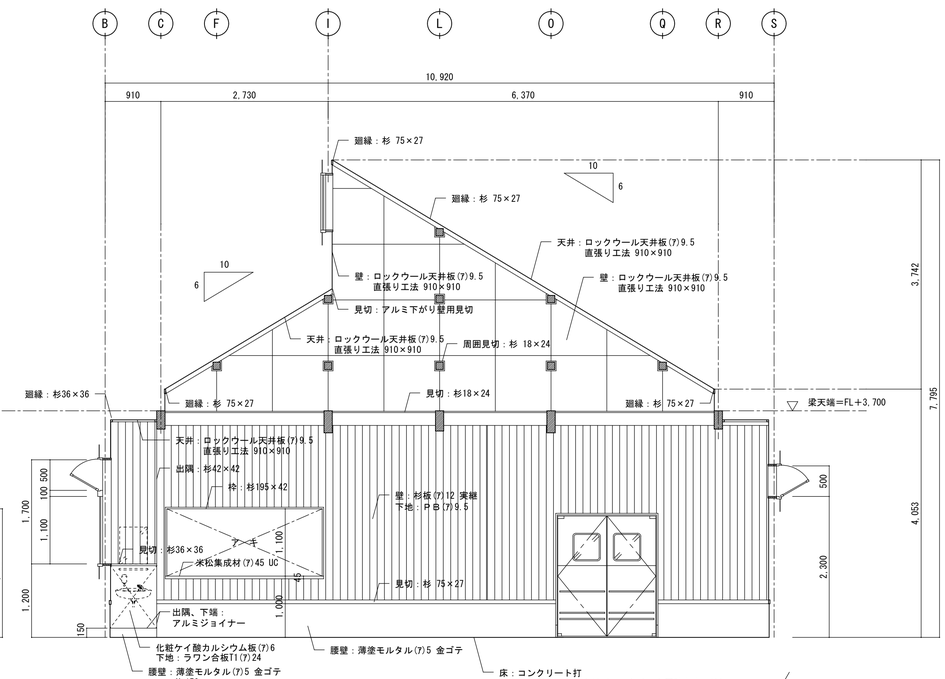


直売所





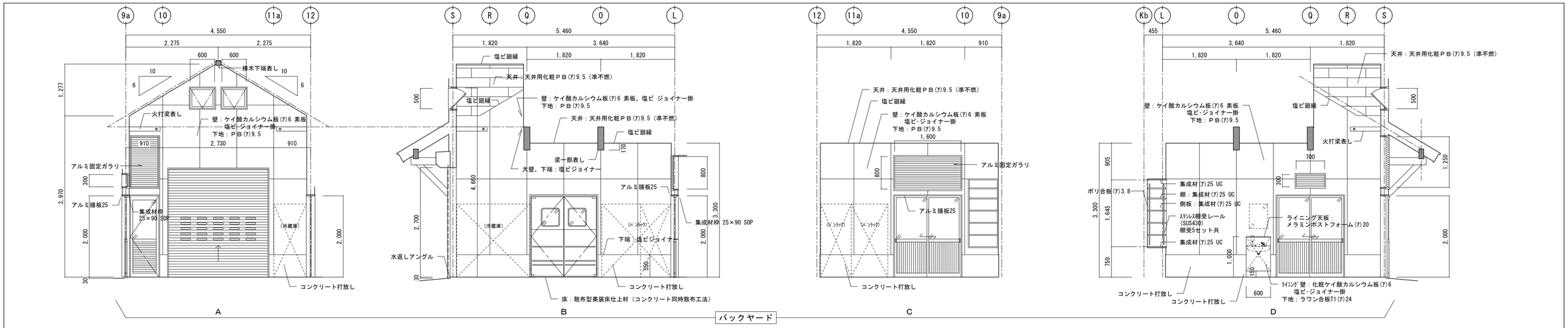
直売所

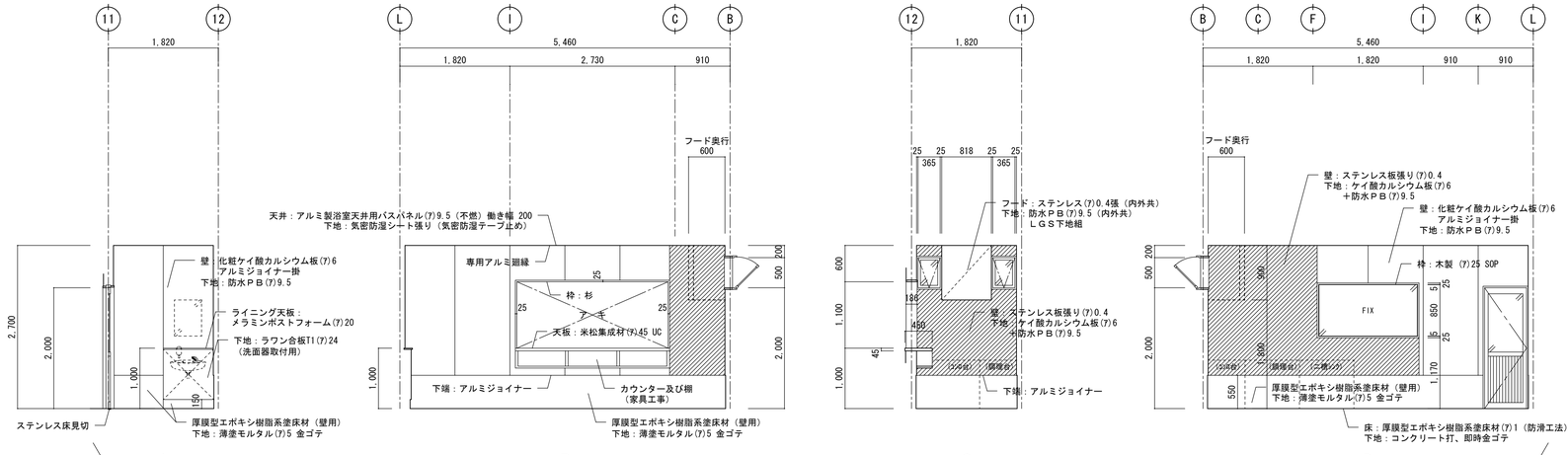


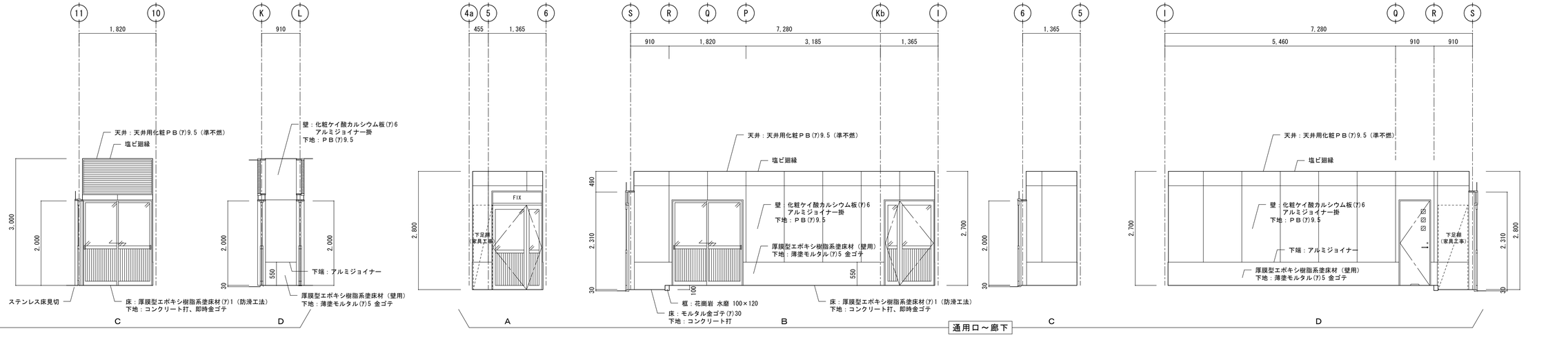
直売所

※注記：家具工事の内、置くだけの物は、図示省略としている。

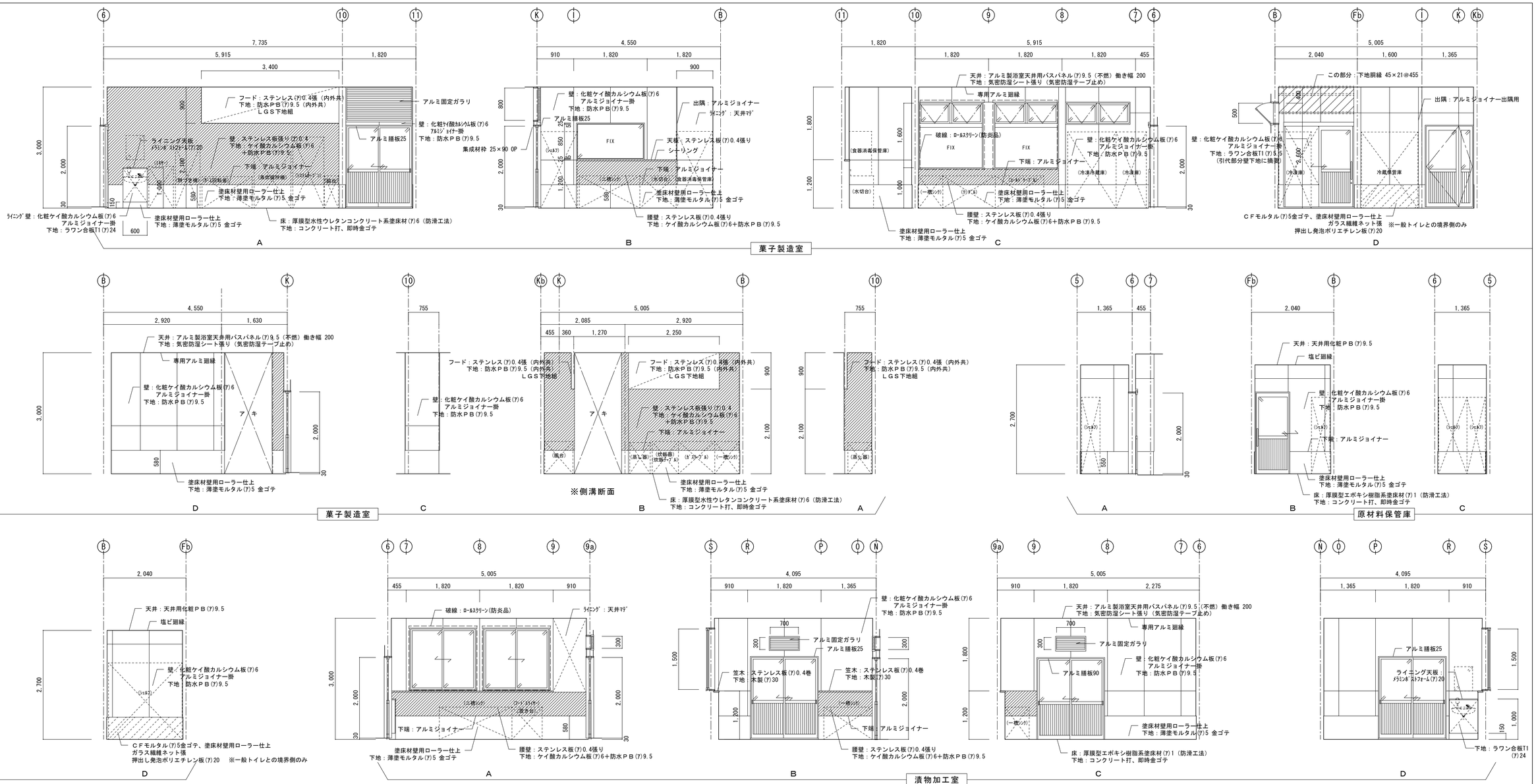
| 変更 | | |



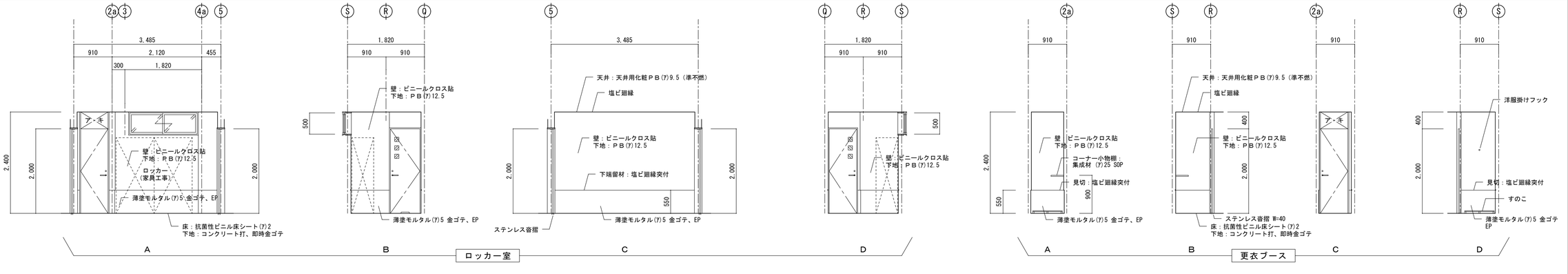




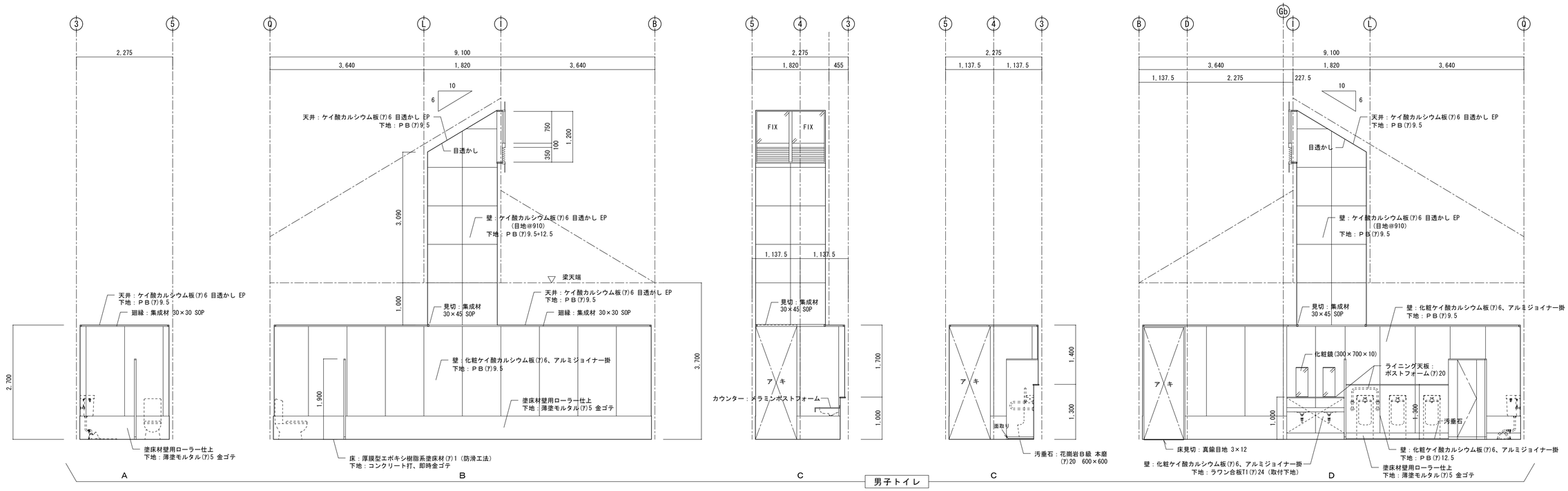
変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事 登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355 管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明 長野 / 樋口 / 山田 / 金子 審査 / 意匠 / 構造 / 機械 / 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設 展開図（3）	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/50	図面番号 AA-24／38 意 電 構 機



変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事 登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355 管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野雄明 長野 審査 樋口 山田 サブ責 金子 意匠 構造 機械 電気	工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称 直売加工所建設 展開図（4）	年月日 2012.6.30 縮尺 S=1/50	図面番号 AA-25／38 意 電 構 機



変更		三条市	三条市建築設計協同組合 新潟県知事 登録番号（二）第3037号 電話 0256-32-5355 管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野睦明 長野 樋口 / 山田 / 金子	工事名称：下田地域交流拠点施設建設建築本体工事 図面名称：直売加工所建設 展開図（５） 年月日：2012.6.30 縮尺：S=1/50 図面番号：AA-26／38



変更		三条市	三条市建築設計協同組合 電話 0256-32-5355 新潟県知事 登録番号（二）第3037号 管理建築士 一級建築士 第168593号 樋口 宏	設計者 一級建築士 第177868号 長野暁明				工事名称 下田地域交流拠点施設建設建築本体工事	年月日 2012.6.30
				審査 樋口	作図 山田	意匠 金子	構造	機械	電気	図面名称 直売加工所建設 展開図（６）	縮尺 S=1/50	図面番号 AA-27／38	意 電 構 機